

令和 6・7 年度

学習指導要領を踏まえた保育技術検定の在り方  
～共通教科「家庭」の保育に係る指導の充実に向けて～

公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会  
全国高等学校長協会家庭部会

技術検定調査研究委員会

# 目 次

I	研究主題の設定及び調査研究内容	1
1	研究のテーマ	
2	調査研究の趣旨	
3	調査研究の内容	
II	調査研究委員会活動	1
1	調査研究の期間	
2	調査研究委員	
3	主な活動	
III	調査研究	2
1	アンケート調査	
(1)	アンケート調査の概要	
(2)	アンケート調査の結果	
2	授業研究	
IV	まとめと提言	4
[資料]		
1	アンケート調査依頼文書 <資料1-1、1-2、1-3> 令和6年度 家庭科技術検定調査研究委員会に係る調査について（依頼）	5
2	授業研究依頼文書 <資料2-1、2-2> 家庭科技術検定調査研究に係る授業研究について（依頼）	7
《授業研究報告》		9
《技術検定関係資料》		25

## I 研究主題の設定及び調査研究内容

### 1 研究のテーマ

学習指導要領を踏まえた保育技術検定の在り方～共通教科「家庭」の保育に係る指導の充実に向けて～

### 2 調査研究の趣旨

家庭科技術検定は、昭和35年の誕生から60年余の長きにわたり家庭科を学ぶ生徒の知識・技術の定着と、教員の指導力向上に寄与してきた。技術検定調査研究委員会では、家庭科技術検定の運営主体である財団法人全国高等学校家庭科教育振興会が平成23年度に公益財団法人化したことに伴い、公益性、検定内容の質の確保、評価の透明性などを検証しながら、次のようなテーマで研究を行い、提言や実践事例を提示してきた。

◆令和2・3年度「ICTを活用した家庭科技術検定の更なる充実に向けて～家庭科技術検定指導におけるICTの活用～」  
令和2年度は、高等学校における新学習指導要領の実施を目前にして、新型コロナウイルスが全国で猛威をふるい、対面授業が制限されるような事態が生じてきた。そこで子供たちの「学びを止めない」こと、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて本テーマで研究を進めた。

◆令和4・5年度「共通教科「家庭」における衣生活に関する指導の充実に向けて～家庭科技術検定の活用を通して～」  
学習指導要領が完全実施される令和6年度に向けて、共通教科「家庭」における指導の充実と令和6年度から被服製作技術検定4級の試験内容が手縫いのみとなることを受けて、受検者数の拡大を目指し、本テーマで研究を行った。  
令和5年度には、被服製作技術検定新4級の内容を先取りした「プレコンクール」を実施して新4級内容の周知を図るとともに、ものづくりの楽しさを再認識させることができた。また、共通教科においても短時間で取り組むことができる実習授業の実践例を示すなど、4級受検者の増加につなげることができた。

令和6年度完全実施の高等学校学習指導要領では、共通教科「家庭」の指導内容が整理されるとともに、専門教科「家庭」においても保育系の科目「発達と保育」「子ども文化」が整理統合され「保育基礎」「保育実践」とされたことから、指導内容の見直しとともに保育技術検定の在り方についても再考する必要が出てきた。さらに、平成30・令和元年度の本委員会調査研究においても、保育技術検定については、試験内容や種目の構成、名称等、新高等学校学習指導要領に基づいた見直しが必要であると提言されている。これらを受け、現状における保育技術検定の実施状況と課題を再確認し、高等学校学習指導要領を踏まえた在り方について再考するとともに、特に共通教科「家庭」における保育に関する指導の充実を図り、3級受検者の増加につなげることを本研究のねらいとした。

### 3 調査研究の内容

#### (1) アンケート調査

- ① 調査対象 保育技術検定3級（令和7年度の2級）以上実施校（471校）の家庭科主任又は保育技術検定担当教員
- ② 主な調査内容
  - ・ 共通教科「家庭」における保育に関する指導について
  - ・ 保育技術検定の実施について
- ③ 調査方法 Google フォームによる Web 回答

#### (2) 授業研究 保育技術検定新3級の内容を活用した授業実践（3校）

## II 調査研究委員会活動

### 1 調査研究の期間 令和6年7月～令和8年3月

### 2 調査研究委員（○は委員長）

#### 【令和6年度】

- 片岡 潤子（岐阜県立岐阜総合学園高等学校長）  
須川 史子（群馬県立富岡実業高等学校長）  
津田 富代（倉敷市立倉敷翔南高等学校長）  
江頭かおり（佐賀県立牛津高等学校長）  
〔事務局〕 名塚 康恵（事務局長）

#### 【令和7年度】

- 片岡 潤子（岐阜県立岐阜総合学園高等学校長）  
鈴木 香（静岡県立富士宮東高等学校）  
津田 富代（岡山県立倉敷中央高等学校）  
中市妃佐代（山口県立厚狭・厚狭明進高等学校）  
〔事務局〕 加藤 路子（事務局長）

### 3 主な活動

【令和6年度】	【令和7年度】
(1) 第1回調査研究委員会 令和6年6月25日（火） ○調査研究の趣旨・テーマ・内容の検討	(1) 第1回調査研究委員会 令和7年6月24日（火） ○令和7年度調査研究計画 ○アンケート調査結果の分析・考察
(2) 第2回調査研究委員会 令和6年9月25日（水） ○アンケート調査の対象及び内容の検討 ○研究協議会（秋季）福井大会の中間報告について	(2) 第2回調査研究委員会 令和7年8月26日（火） ○アンケート調査結果の分析・考察 ○研究協議会（秋季）岩手大会の中間報告について
(3) 第3回調査研究委員会 令和6年10月28日（月） ○アンケート調査の内容の確定 ○授業研究依頼先の選定	(3) 第3回調査研究委員会 令和7年12月8日（月） ○アンケート調査結果の分析・考察 ○実践事例報告書の確認
(4) 第4回調査研究委員会 令和7年2月18日（火） ○アンケート調査結果の確認	(4) 第4回調査研究委員会 令和8年1月19日（月） ○報告書の作成

### Ⅲ 調査研究

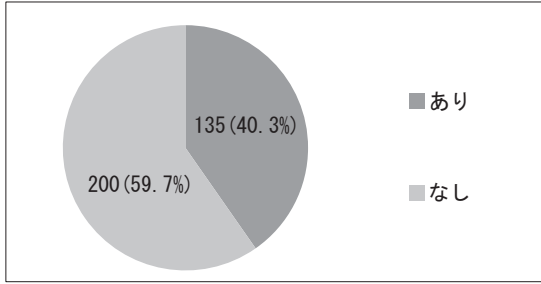
#### 1 アンケート調査

##### (1) アンケート調査の概要

- ① 調査期間 令和6年11月25日～12月27日  
※検定の級は令和7年度から改定しているが、調査は令和6年度に実施したために改定前の級である。  
令和7年度からは、3級(旧4級)、2級(旧3級)、準1級(旧2級)、1級(変更なし)。
- ② 調査対象 依頼校数471校(家庭科技術検定1、2級実施校)の家庭科教員  
普通科単独校、普通科とその他(家庭学科及び総合学科を除く)の併設校
- ③ 回答校数 335校(回答率71.1%)
- ④ 調査内容 <資料1-3>参照(p.6)

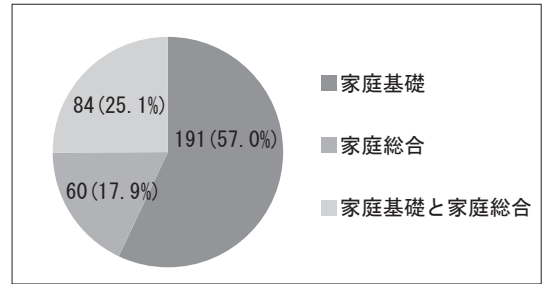
##### (2) アンケート調査の結果 ※グラフ内の数は校数、( )内は%

##### ① 家庭に関する学科設置の有無



本調査回答校のうち、家庭に関する学科を設置する学校は、40.3%の135校である。

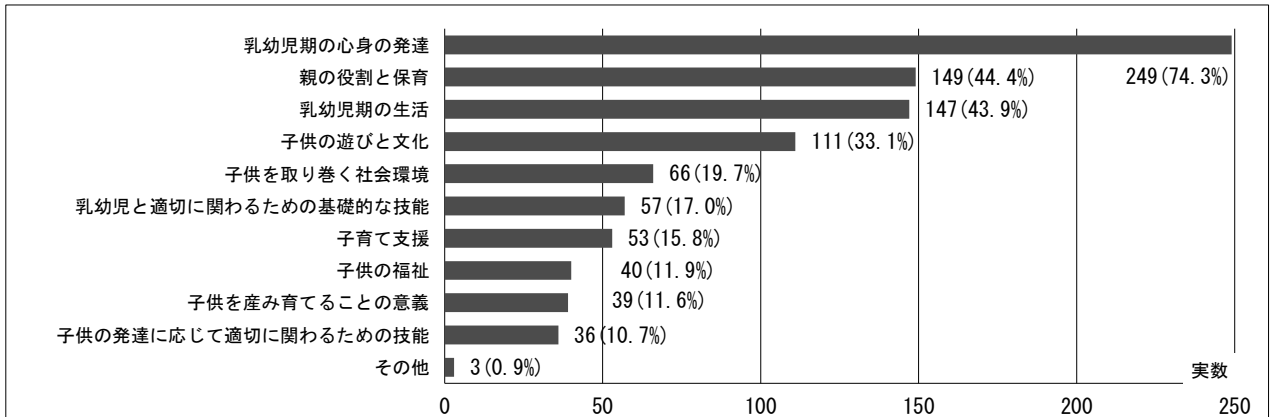
##### ② 令和6年度入学生の共通教科「家庭」の履修科目



共通教科「家庭」の履修科目は、家庭基礎が57.0%の191校と最も多く、家庭総合は全体の17.9%にあたる60校である。

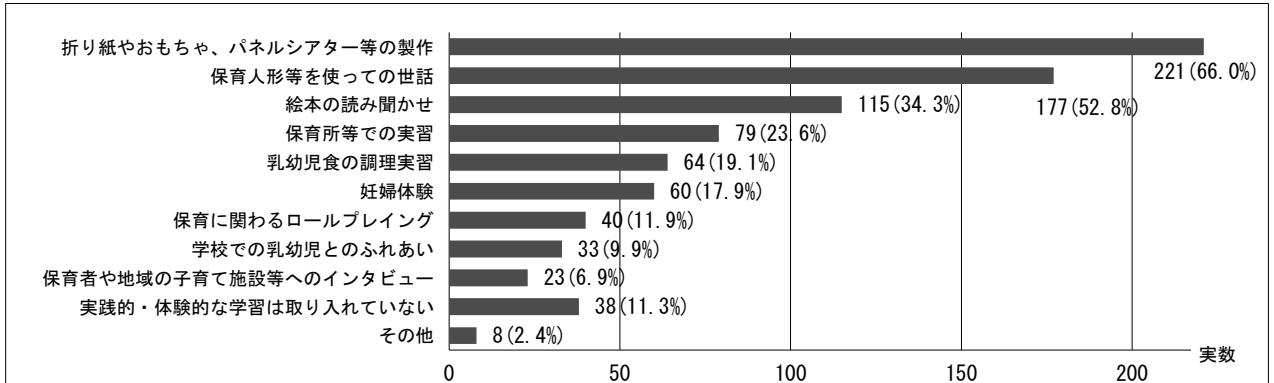
##### ③ 共通教科「家庭」における保育に関する指導について

##### ア 重きを置いている指導内容 (複数回答)



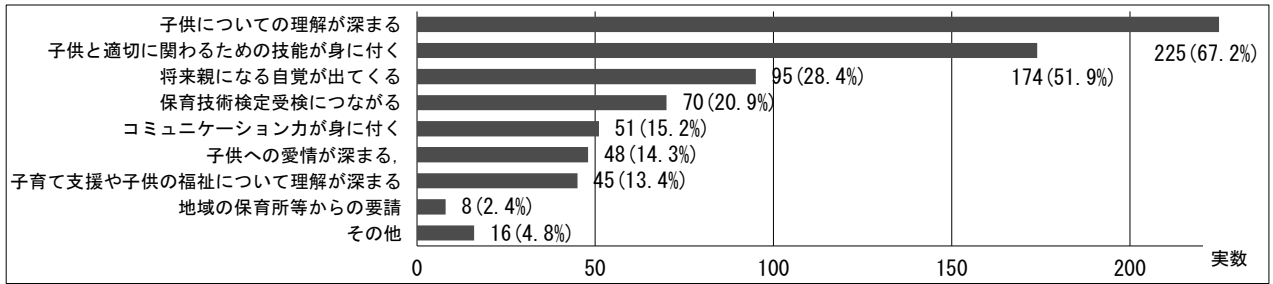
保育に関する指導において、重きを置いている指導内容については、「乳幼児期の心身の発達」が74.3%と最も多く、次いで「親の役割と保育」が44.4%、「乳幼児期の生活」が43.9%である。保育技術検定の内容に関わる「子どもの遊びと文化」は33.1%、「乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能」は17.0%であった。

##### イ 実施している実践的・体験的な学習活動 (複数回答)



実践的・体験的な学習活動については、「折り紙やおもちゃ、パネルシアター等の製作」が66.0%と最も多く、「保育人形を使っての世話」が52.8%、「絵本の読み聞かせ」が34.3%である。実践的・体験的な学習活動を取り入れていない学校は11.3%で、全体の1割程度を占めている。

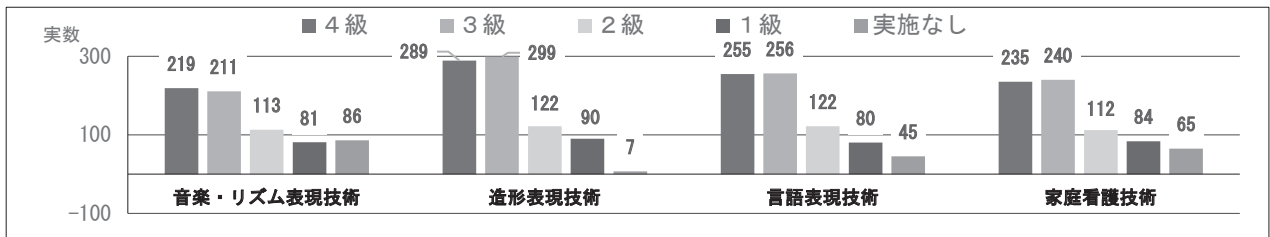
ウ イの学習活動を取り入れている理由 (3つまで回答)



実践的・体験的な学習活動を取り入れている理由については、「子供についての理解が深まる」が67.2%と最も多く、次に「子供と適切に関わるための技能が身に付く」が51.9%である。「保育技術検定受験につながる」と回答した学校は20.9%である。

④ 保育検定について

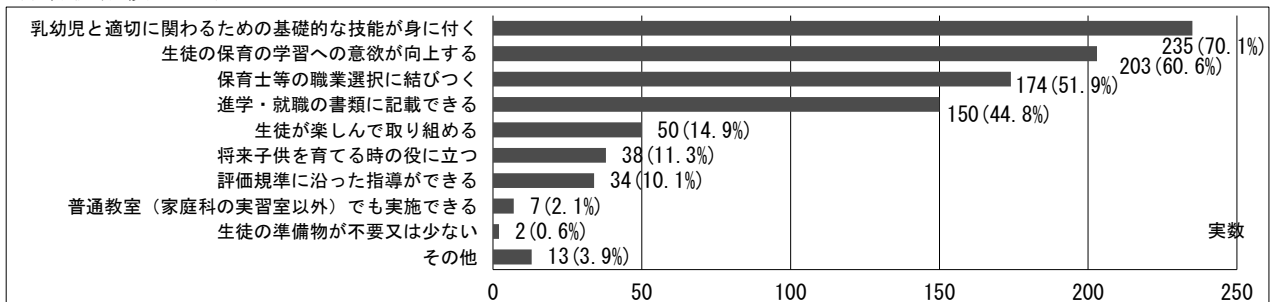
ア 実施級



種目別の実施状況は、4級・3級は「造形表現技術」が最も多く、次いで「言語表現技術」、「家庭看護技術」、「音楽・リズム表現技術」の順である。2級は「造形表現技術」と「言語表現技術」が多く、次いで「音楽・リズム表現技術」「家庭看護技術」の順である。1級は「造形表現技術」が最も多く、次いで「家庭看護技術」、「音楽・リズム表現技術」、「言語表現技術」の順である。

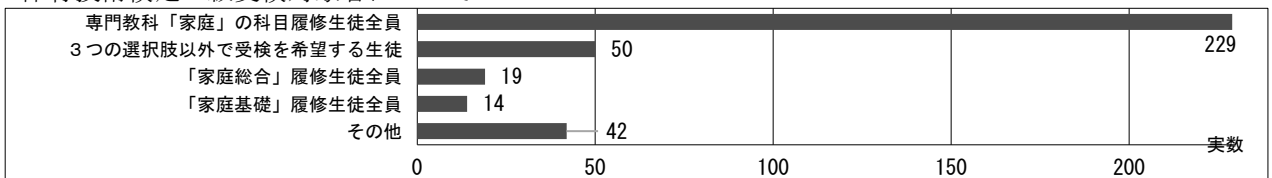
また、実施していない種目では、「音楽・リズム表現技術」が最も多く、次いで「家庭看護技術」、「言語表現技術」の順である。「造形表現技術」を実施していない学校は、実施校のわずか2%である。

イ 保育技術検定を取り入れている理由 (3つまで回答)



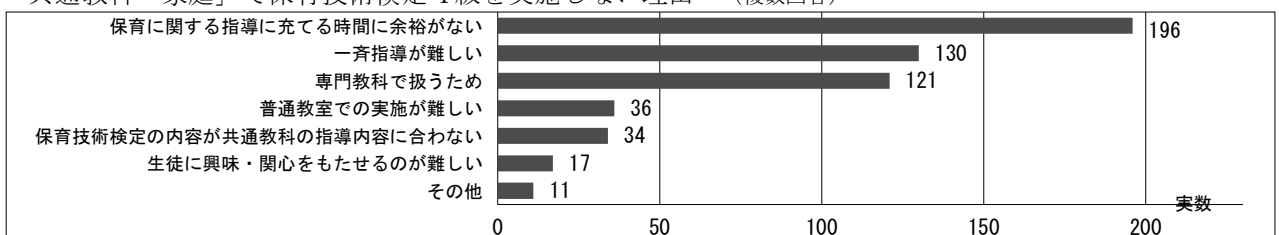
「乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能が身に付く」が70.1%で最も多く、次いで「生徒の保育の学習への意欲が向上する」が60.6%、「保育士等の職業選択に結びつく」が51.9%、「進学・就職の書類に記載できる」が44.8%であった。

ウ 保育技術検定4級受験対象者について



「専門教科『家庭』の科目履修生徒全員」が229校(68.4%)で最も多く、「必修教科『家庭』の履修生徒全員」では、「家庭総合」を履修している144校のうち19校(13.2%)、「家庭基礎」を履修している251校のうち14校(5.6%)と少ない。

エ 共通教科「家庭」で保育技術検定4級を実施しない理由 (複数回答)



「保育に関する指導に充てる時間に余裕がない」が最も多く、次いで「一斉指導が難しい」「専門教科で扱うため」の順であった。

2 授業研究 (p. 9~23)

## Ⅳ まとめと提言

### 1 アンケート結果の分析・考察

共通教科「家庭」における保育に関する指導について、重きを置いている指導内容は、「乳幼児期の心身の発達」が74.3%、「親の役割と保育」が44.4%、「乳幼児期の生活」が43.9%である。実践的・体験的な学習活動については、「折り紙やおもちゃ、パネルシアター等の製作」が66.0%、「保育人形を使っの世話」が52.8%、「絵本の読み聞かせ」が34.3%である。実践的・体験的な学習活動を取り入れている理由については、「子供についての理解が深まる」が67.2%、「子供と適切に関わるための技能が身に付く」が51.9%であり、重きを置いている指導内容の充実を図ることをねらいとしていることが分かる。このように、保育に関する指導においては、実践的・体験的な学習活動を通じて、その指導の充実を図っている実態がうかがえる。一方で、実践的・体験的な学習活動を取り入れていない学校が1割を占めており、学びの実践の場の確保が課題となる。

学校で実施されている実践的・体験的な学習活動の上位3つについては、保育技術検定の各種目の内容と重なっている。このことから、共通教科「家庭」の保育に関する指導においては、保育技術検定を効果的に実施することが指導の充実につながると考えられる。

しかし、保育技術検定3級(旧4級)受検対象者については、「必修教科『家庭』の履修生徒全員」のうち、「家庭総合」を履修している144校では19校(13.2%)、「家庭基礎」を履修している251校では14校(5.6%)と少ない。その理由として、「保育に関する指導に充てる時間に余裕がない」が最も多く、「一斉指導の難しさ」も挙げられている。保育技術の評価は生徒一人一人の実技をその場で確認する必要があるため、1クラスを一人の指導者が担当することが多い共通教科「家庭」において、その難しさがうかがえる。しかし、限られた時間内に保育技術検定の内容を取り入れ、指導の充実を図っている学校もある。今回、授業研究として紹介する3校の実践例は、共通教科「家庭」の履修者を受検対象にしているもので、ぜひ参考にいただきたい。

また、アンケートでは「保育技術検定の内容が共通教科『家庭』の指導内容に合わない」との回答もあり、特に3級においては、学習指導要領の内容を踏まえて実施内容及び方法の見直しを図ることで、より共通教科「家庭」における保育に関する指導の充実につなげることができると考える。

さらに自由記述においては、3級にかかわらず上位級についても様々な問題提起があった。多く挙げられていた内容としては、「上位級の難易度が高い」「4種目は負担が大きい」「2種目又は3種目に絞る」「家庭科教員の指導の範疇を超えている」「音楽・リズム表現は音楽の教員の協力が得られないとできない」「手遊び歌や音楽に合わせて体操・ダンスなどに変更してほしい」「布おむつやひも付きの肌着、非伸縮包帯などは手に入りやすく、現在の子育てに対応できていない」などであった。

### 2 提言

保育技術検定は、昭和62年厚生省令改正により高等学校保育科生徒の保母試験受験資格が廃止され、これに代わるものとして平成5年に誕生した。現在では、被服製作技術検定・食物調理技術検定とともに、家庭科で学習する知識・技能・技術の定着を図る目的で実施されている。しかし一方で、社会環境や保育・教育を取り巻く状況、高等学校学習指導要領における教育内容の見直しなど、時代の変遷とともに教育環境が変化する中で、保育に関する知識・技能・技術の指導についても例外ではなくなっている。そのため、家庭科の学習の範囲を超えた内容が含まれていること、扱う題材や場面設定などが実態に合わない面があることなどが、今回のアンケートにおいても指摘されている。また、平成30年・令和元年の本調査研究においては、保育技術検定についても、学習指導要領との整合性を持たせるために試験内容や種目の構成、名称等の変更について提言されている。それらを受け、今回の調査研究では次のように提言したい。

■共通教科「家庭」の保育に関して、保育技術検定3級の内容を扱うことで、生徒の興味・関心を高め、知識・技能の定着を図るなどして、より一層、指導の充実を図れることが期待できる。そのため、3級の内容を、高等学校学習指導要領に沿うように見直すことや、一斉指導が可能になるような実施内容及び方法の検討が望まれる。

■2級以上の上位級については、専門教科「家庭」の「保育基礎」や「保育実践」における指導との整合性を踏まえ、家庭科で扱う内容として整理し、種目数、種目名称及び実施内容の変更について具体的な検討が望まれる。

以上、今回は具体的な実施内容や方法に触れることができなかったため、今後の本調査研究に託したい。

おわりに、ご多用の中、アンケート調査や授業研究にご協力くださいました全国の家庭科の先生方に、心より感謝申し上げます。

関係高等学校長 各位

全国高等学校長協会家庭部会  
理事長 小川 剛  
技術検定調査研究委員会  
委員長 片岡 潤子  
( 公印省略 )

令和6年度 家庭科技術検定調査研究に係る調査について (依頼)

暮秋の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。  
平素から、当部会の諸事業に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、本調査研究会では、本年度及び次年度の2年間、下記のテーマ及び趣旨に基づき、調査研究を進めております。この度、その一環としてアンケート調査を実施いたします。  
つきましては、趣旨を御理解のうえ、貴校の家庭科主任又は保育技術検定担当教員に、依頼文とアンケート調査用紙(検教員用)をお渡しください申し上げます。

記

- 1 テーマ  
学習指導要領を踏まえた保育技術検定の在り方  
～共通教科「家庭」の保育に係る指導の充実に向け～
- 2 調査研究の趣旨  
「生きて働く知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」「学びに向かう力・人間性等の涵養」の3つを柱とした高等学校学習指導要領は、令和6年度に完全実施年となった。そこで、共通教科「家庭」の保育に関する指導の現状及び保育技術検定に関する現状と課題について、アンケート調査により把握することとした。これらの結果をもとに、分析・考察をし、報告書にまとめることにより、学習指導要領の「よりよい実施」に向け、保育に係る指導の充実に資することとした。併せて、実践的・体験的な教育活動をもとにした、実技試験を伴う保育技術検定の振興に資することをねらいとする。
- 3 アンケート調査の対象  
家庭科主任又は保育技術検定担当教員 (保育技術検定3級以上の実施校) 1名
- 4 期限及び回答方法  
令和6年12月27日(金)までに、**【検教員用】**アンケートの二次元バーコードから御回答ください。なお、FAXを御利用の場合は、下の問合せ先FAX番号へ送信ください。(鑑不要)  
〔参考〕Windows10又は11で二次元バーコードをカメラアプリで読み取る場合の操作  
① 「スタート」→「すべてのアプリ」→「カメラ」を選択する。  
② 画面右側のアイコンを操作して「バーコード」モードに変更する。  
③ カメラに二次元バーコードを向けて映し出す。  
④ 表示されたURLをクリックするか、**【Enter】**キーを押す。

<問合せ先>
全国高等学校長協会
公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会
事務局長 名塚 康 恵
〒102-0071 東京都千代田区富士見1-5-6
TEL 03-3261-0617
FAX 03-3288-1670
E-mail all-kocho@katei-ed.or.jp

関係家庭科技術検定担当教員 各位

全国高等学校長協会家庭部会  
理事長 小川 剛  
技術検定調査研究委員会  
委員長 片岡 潤子  
( 公印省略 )

令和6年度 家庭科技術検定に係る調査について (依頼)

暮秋の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。  
平素から、当部会の諸事業に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、本調査研究会では、本年度及び次年度の2年間、下記のテーマ及び趣旨に基づき、調査研究を進めております。この度、その一環としてアンケート調査を実施いたします。  
つきましては、御多用のところ恐縮ですが、趣旨を御理解のうえ、アンケート調査に御協力ください申し上げますようお願い申し上げます。

記

- 1 テーマ  
学習指導要領を踏まえた保育技術検定の在り方  
～共通教科「家庭」の保育に係る指導の充実に向け～
- 2 調査研究の趣旨  
「生きて働く知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」「学びに向かう力・人間性等の涵養」の3つを柱とした高等学校学習指導要領は、令和6年度に完全実施年となった。そこで、共通教科「家庭」の保育に関する指導の現状及び保育技術検定に関する現状と課題について、アンケート調査により把握することとした。これらの結果をもとに、分析・考察をし、報告書にまとめることにより、学習指導要領の「よりよい実施」に向け、保育に係る指導の充実に資することとした。併せて、実践的・体験的な教育活動をもとにした、実技試験を伴う保育技術検定の振興に資することをねらいとする。
- 3 アンケート調査の対象  
家庭科主任又は保育技術検定担当教員 (保育技術検定3級以上の実施校) 1名
- 4 回答方法及び期限  
令和6年12月27日(金)までに、**【検教員用】**アンケートの二次元バーコードから御回答ください。なお、FAXを御利用の場合は、下の問合せ先FAX番号へ送信ください。(送り状は不要です。)  
〔参考〕Windows10又は11で二次元バーコードをカメラアプリで読み取る場合の操作  
① 「スタート」→「すべてのアプリ」→「カメラ」を選択する。(Google Playが必須)  
② 画面右側のアイコンを操作して「バーコード」モードに変更する。  
③ カメラに二次元バーコードを向けて映し出す。  
④ 表示されたURLをクリックするか、**【Enter】**キーを押す。

<問合せ先>
全国高等学校長協会
公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会
事務局長 名塚 康 恵
〒102-0071 東京都千代田区富士見1-5-6
TEL 03-3261-0617
FAX 03-3288-1670
E-mail all-kocho@katei-ed.or.jp



令和6年度「技術検定調査研究委員会」アンケート

回答期限：令和6年12月27日

アンケートの回答はこちらから

<<FAXで回答の場合>>該当番号に○を記入し、本票のみ全国高等学校長協会家庭部会03-3288-1670へ

1 都道府県名	2 学校名	3 お名前
---------	-------	-------

下の設問について、該当する番号を選び、「その他」を選んだ場合に（ ）があるときは、具体的に記入してください。

■設置学科及び教育課程について

4 家庭に関する学科設置の有無について

- ①家庭に関する学科の設置なし
- ②家庭に関する学科の設置あり

5 令和6年度入学生の特修教科「家庭」の履修科目について

- ① 家庭基礎
- ② 家庭総合
- ③ 家庭基礎と家庭総合 (学科やコース等により異なる)

■共通教科「家庭」における保育に関する指導について

6 重きを置いて指導している項目 (上位3つまで)

- ① 乳幼児期の心身の発達
- ② 乳幼児期の生活
- ③ 子供の遊びと文化
- ④ 親の役割と保育
- ⑤ 子供を取り巻く社会環境
- ⑥ 子供の福祉
- ⑦ 子育て支援
- ⑧ 子供を産み育てることの意義
- ⑨ 乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能
- ⑩ 子供の発達に応じて適切に関わるための技能
- ⑪ その他 ( )

7 実施している実践的・体験的な学習活動 (複数回答可)

- ① 学校での乳幼児とのふれあい
- ② 保育所等での実習
- ③ 折り紙やおもちゃ、パネルシアター等の製作
- ④ 保育に関わるロールプレイング
- ⑤ 保育者や地域の子育て施設等へのインタビュー
- ⑥ 絵本の読み聞かせ
- ⑦ 保育人形等を使っての世話
- ⑧ 妊婦体験
- ⑨ 乳幼児食の調理実習
- ⑩ 実践的・体験的な学習は取り入れていない ⇒設問9へ
- ⑪ その他 ( )

8 設問7の学習活動を取り入れている理由 (上位3つまで)

- ① 子供についての理解が深まる
- ② 子供への愛情が深まる
- ③ 将来親になる自覚が出てくる
- ④ 子供と適切に関わるための技能が身に付く
- ⑤ 子育て支援や子供の福祉について理解が深まる
- ⑥ コミュニケーション力が身に付く
- ⑦ 保育技術検定受験につながる
- ⑧ 地域の保育所等からの要請
- ⑨ その他 ( )

■保育技術検定について

9 実施級について

- |              |      |      |      |      |
|--------------|------|------|------|------|
| ① 音楽・リズム表現技術 | ア 4級 | イ 3級 | ウ 2級 | エ 1級 |
| ② 造形表現技術     | ア 4級 | イ 3級 | ウ 2級 | エ 1級 |
| ③ 言語表現技術     | ア 4級 | イ 3級 | ウ 2級 | エ 1級 |
| ④ 家庭看護技術     | ア 4級 | イ 3級 | ウ 2級 | エ 1級 |

10 保育技術検定を取り入れている理由 (上位3つまで)

- ① 乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能が身に付く
- ② 生徒の保育の学習への意欲が向上する
- ③ 将来子供を育てる時の役に立つ
- ④ 保育士等の職業選択に結びつく
- ⑤ 生徒が楽しんで取り組める
- ⑥ 生徒の準備物が不要又は少ない
- ⑦ 評価規準に沿った指導ができる
- ⑧ 進学・就職の書類に記載できる
- ⑨ 普通教室 (家庭科の実習室以外) でも実施できる
- ⑩ その他 ( )

11 保育技術検定4級受検対象者について

- ① 「家庭基礎」履修生徒全員
- ② 「家庭総合」履修生徒全員 ⇒ ①②を選んだ場合は設問13へ (12の回答不要)
- ③ 専門教科「家庭」の科目履修生徒全員
- ④ ①～③以外で受検を希望する生徒
- ⑤ その他

12 共通教科「家庭」で保育技術検定4級を実施しない理由 (複数回答可)

- ① 保育に関する指導に充てる時間に余裕がない
- ② 一斉指導が難しい
- ③ 保育技術検定の内容が共通教科の指導内容に合わない
- ④ 普通教室での実施が難しい
- ⑤ 生徒に興味・関心をもたせるのが難しい
- ⑥ 専門教科で扱うため
- ⑦ その他 ( )

13 保育技術検定について、御意見のある方は御記入ください。

[ ]

以上、御回答ありがとうございました。

〇〇県立〇〇高等学校  
校長 〇〇 〇〇 様

6 家 第 94 号  
令和7年3月26日

全 国 高 等 学 校 長 協 会 家 庭 部 会  
公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会  
技 術 検 定 調 査 研 究 委 員 会  
片 岡 潤 子  
(公印省略)

家庭科技術検定調査研究に係る授業研究について(依頼)

桜花の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
平素より、当部会並びに振興会の諸事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、本調査研究委員会では、「学習指導要領を踏まえた保育技術検定の在り方～共通教科「家庭」の指導の充実に向けて～」をテーマに、令和6・7年度の2年間、調査研究を進めております。  
そこで、研究の一環として下記のとおり、貴校 △△ 教諭の研究及び原稿執筆についてご承諾いただき、別添文書をお渡しさせていただきますようお願いいたします。  
なお、授業研究報告は、令和8年3月末発行(5月配付)の当委員会報告書及び当部会ホームページに掲載いたします。

記

- 1 授業研究の趣旨  
令和6年度完全実施の高等学校学習指導要領では、共通教科「家庭」において、保育は「人の一生と家族・家庭及び福祉」に位置付けられ、基礎的・基本的な知識と技能を習得し、男女が協力して家庭や地域の生活の充実に資する能力と実践的な態度を養うことをねらいとしている。  
そこで、限られた指導時間の中で実践につながる知識・技能を身に付けることができるよう、保育技術検定新3級の内容を活用した授業研究を依頼する。  
また、研究成果を報告書に掲載し、保育に係る家庭科教育の更なる充実と振興に資する。
- 2 取り組んでいただきたい内容  
保育技術検定新3級の内容を活用した授業計画の立案・実践をする。
- 3 報告及び報告期限  
(1) 当該授業の指導案及び実践報告  
(2) 令和7年12月1日(月) ただし、年間指導計画上、提出が遅くなる場合は事前にご連絡ください。
- 4 その他  
本研究に際し、特別に経費が発生する場合は、下記問合せ先にご相談ください。

<問合せ先>  
 全国高等学校長協会家庭部会  
 公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会  
 事務局長 名塚 康恵  
 TEL 03-3261-0617  
 FAX 03-3288-1670  
 E-mail all-kocho@gatei-ed.or.jp

〇〇県立〇〇高等学校  
教諭 △△ △△ 様

6 家 第 94 号  
令和7年3月26日

全 国 高 等 学 校 長 協 会 家 庭 部 会  
公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会  
技 術 検 定 調 査 研 究 委 員 会  
片 岡 潤 子  
(公印省略)

家庭科技術検定調査研究に係る授業研究について(依頼)

桜花の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
平素より、当部会並びに振興会の諸事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、本調査研究委員会では、「学習指導要領を踏まえた保育技術検定の在り方～共通教科「家庭」の指導の充実に向けて～」をテーマに、令和6・7年度の2年間、調査研究を進めております。  
そこで、研究の一環として下記のとおり、授業研究を依頼することとしました。  
つきましては、趣旨をご理解のうえ、本研究にご協力くださいますようお願いいたします。  
なお、授業研究報告は、令和8年3月末発行(5月配付)の当委員会報告書及び当部会ホームページに掲載いたします。

記

- 1 授業研究の趣旨  
令和6年度完全実施の高等学校学習指導要領では、共通教科「家庭」において、保育は「人の一生と家族・家庭及び福祉」に位置付けられ、基礎的・基本的な知識と技能を習得し、男女が協力して家庭や地域の生活の充実に資する能力と実践的な態度を養うことをねらいとしている。  
そこで、限られた指導時間の中で実践につながる知識・技能を身に付けることができるよう、保育技術検定新3級の内容を活用した授業研究を依頼する。  
また、研究成果を報告書に掲載し、保育に係る家庭科教育の更なる充実と振興に資する。
- 2 取り組んでいただきたい内容  
保育技術検定新3級の内容を活用した授業計画の立案・実践をする。
- 3 報告及び報告期限  
(1) 当該授業の指導案及び実践報告  
(2) 令和7年12月1日(月) ただし、年間指導計画上、提出が遅くなる場合は事前にご連絡ください。
- 4 その他  
本研究に際し、特別に経費が発生する場合は、下記問合せ先にご相談ください。

<問合せ先>  
 全国高等学校長協会家庭部会  
 公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会  
 事務局長 名塚 康恵  
 TEL 03-3261-0617  
 FAX 03-3288-1670  
 E-mail all-kocho@gatei-ed.or.jp



## 《 授業研究報告 》

### — 保育技術検定3級の内容を活用した授業実践 —

群馬県立吉井高等学校	山田有佳里教諭	[p. 9 ~ 12]
岐阜県立大垣商業高等学校	大橋 絵美教諭	[p. 13 ~ 18]
岡山県立興陽高等学校	秋山 美佳教諭	[p. 19 ~ 22]

学校名	群馬県立吉井高等学校	所在地等	〒370-2104 群馬県高崎市吉井町馬庭1478-1 TEL：027-388-3511 Eメールアドレス：yukari-yamada@edu-g.gsn.ed.jp		
校長名	佐藤 治彦				
指導教諭名	山田 有佳里	実施学科・学年	総合学科・1学年	科目名	家庭基礎
				使用教科書	未来へつなぐ家庭基礎 365 ( 教育図書 )

〔単元名〕 子供の生活と保育

〔内容のまとめ〕 A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (3)子供の生活と保育

### 1 単元の目標

(1) 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。

(2) 子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。

(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。

### 2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。	子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。


### 3 指導と評価の計画 (6時間)

- |                    |     |
|--------------------|-----|
| (1) 子どもの発達と発育      | 1時間 |
| (2) 乳児の生活と養護       | 1時間 |
| (3) 子どもの生活習慣と安全な環境 | 1時間 |
| (4) 遊びと表現活動の意義     | 2時間 |
| (5) 子育て支援と子どもの権利   | 1時間 |

記録・備考に記入している評価規準に照らして、「記録に残す評価」に○、「定期考査により記録に残す評価」に★を記す

時間	ねらい・学習活動	重点	記録	備考 (・は評価規準、*は指導上の留意点を示す)
1	<p><b>子どもの発達と発育</b> 【ねらい】子どもがどのように発達・発育していくかを理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入として、デジタルワーク「子どもや親にどうかわる？」を取り組み、子どもやその親とのかかわり方の自分の傾向を知り、今後どのようにかわっていききたいか考える。</li> <li>・子どもの成長をまとめた動画を視聴し、乳幼児期の身体的な特徴や心の発達、新生児の原始反射について整理する。</li> <li>・発達の方向性と順序性についてイラストを用いながら理解する。</li> <li>・アタッチメントや人見知り、第一次反抗期といった心の発達を理解する。</li> <li>・本時を振り返り、自身の変容や気づき、今後の学習への意欲を記入する。</li> </ul>	知	★	<p>*高校生も子育てにかかわる地域の一員であることを意識できるように、子どもとかかわる具体的な場面や事例を紹介する。</p> <p><b>【単元全体を貫く課題】</b> 地域社会の一員として、子どもの育ちを支えるために、私たちにできることは何だろうか。</p> <p>・乳幼児期の身体の特徴、心の発達について理解している。 <b>【定期考査】</b> ・子どもの育ちを支えることについて自分事として捉え、主体的に取り組もうとしている。 <b>【ワークシート】</b></p>

2	<p><b>乳児の生活と養護</b> 【ねらい】 乳児の基本的な養護方法を体験的に学び、大人の適切な養護の重要性に気づくことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児の1日の生活リズムの特徴を共有する。</li> <li>・グループに分かれ、事前に準備しておいた赤ちゃん人形と育児用品を用いて、「抱っこ」「授乳・げっぷ」「着替え」の体験をする。</li> <li>・グループ内で体験の感想を共有し、新たな気づきや将来の活用の仕方を記述する。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
3	<p><b>子どもの生活習慣と安全な環境</b> 【ねらい】 子どもの自立を促す大人の心構えを理解し、安全な家庭環境の重要性を認識して危険を予測する力を養い、工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「赤ちゃん・幼児クイズ」に挑戦し、正誤を全体で確認しながら、正解の根拠を話し合う。</li> <li>・子どもの生活習慣形成における大人の心構えについて話し合う。</li> <li>・イラストを用いて、家庭内にある危険な箇所を探し、子どもの安全を守る重要性と大人の役割について考える。</li> </ul>
4	<p><b>遊びと表現活動の意義・・・造形表現</b> 【ねらい】 遊びや表現活動を体験し、それぞれの活動が子どもの発達に多面的な役割を果たすことの重要性を考察することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びが子どもの心身の成長に重要な役割を果たしていることを確認する。</li> <li>・表現活動には、造形、言語、音楽、身体などがあることを整理する。</li> <li>・グループで先生役と幼児役に分かれ、折り紙を教え合う。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

5	<p><b>遊びと表現活動の意義・・・身体・音楽表現、言語表現</b>  <b>【ねらい】</b>遊びや表現活動を体験し、それぞれの活動が子どもの発達に多面的な役割を果たすことの重要性を考察することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手遊び歌を全員で体験し、どんな気持ちか、子どもにとってどんな意味があるか、考える。</li> <li>・簡単な童謡を子どもに歌いかけるイメージで歌う。</li> <li>・教員による読み聞かせの良い例と残念な例を聞き、その違いやポイントについて考える。</li> <li>・グループで読み聞かせ体験を行い、聞き手と読み手の両方を体験する。</li> <li>・読み聞かせのポイントを意識できたか、聞きやすかったかなどを相互に評価する。</li> </ul>	思	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>*手遊び歌は、動画配信サービスを活用し、見ながらできるものを複数準備しておく。</li> <li>*童謡と読み聞かせのお話例は、保育検定3級の過去問題を活用する。</li> <li>・体験を通して、子どもの視点にたち、読み聞かせの改善点を具体的に記述することができる。  <b>【ワークシート】</b></li> </ul> 
6	<p><b>子育て支援と子どもの権利</b>  <b>【ねらい】</b>現代の子育てを支える様々な仕組みと子どもの権利について理解を深め、子どもや子育て家庭との関わり方を社会の一員として考察できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援の具体的な仕組み（認定こども園、一時預かり、放課後学童クラブなど）について整理する。</li> <li>・「児童の権利に関する条約」の4つの原則について、事例を交えながら説明し、子どもたちの権利が守られているかについて考える。</li> <li>・デジタルワーク「あなたの子育て支援への意識は？」を参考に、子育て支援への自分自身の意識を確認し、これからの子育てを社会全体で支えることの重要性について話し合う。</li> </ul>	思  態	○  ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>*子どもを取り巻く問題や子育て世代が抱える困難にも触れながら、『子どもまんなか社会』において何が求められているかを整理していく。</li> <li>・授業全体をふまえ、社会の一員として子どもや子育て家庭とどうかかわっていくべきかについて、具体的に記述することができる。  <b>【ワークシート】</b></li> <li>・子どもや子育て家庭とのかかわり方について自らの行動を振り返り、具体的な行動につなげようとしている。  <b>【ワークシート】</b></li> </ul>

#### 4 まとめ（成果と課題）

授業に先立ち、生徒の実態についてアンケート調査を実施した。質問内容は、保育に関する興味関心や、子どもとかわるときに大切だと思うこと、授業で印象に残っていること、保育検定の認知度や挑戦意欲の有無などである。

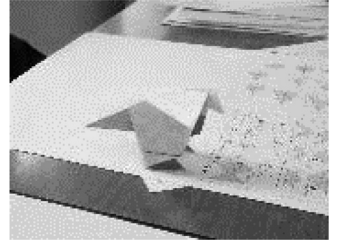
授業を受ける前、保育への関心が「ある」「とてもある」と回答した生徒は67%であり、もともと関心が高い傾向であったが、授業後は92%となり、授業が関心を高める上で有効であったことがわかる。同様に、保育の仕事への関心も、授業前の42%から、授業後には81%の生徒が「高まった」「とても高まった」と回答している。授業前は発達に段階があることを「知っている」生徒が44%だったが、授業後には96%が「理解できた」「よく理解できた」と回答しており、子どもの発達に関する知識が深まったことがわかる。

保育検定については、授業前は81%の生徒が「あまり知らない」「全く知らない」と回答しており、保育検定の認知度は低かった。授業後、検定について知った上で「チャレンジしてみたい」と「思う」「とてもそう思う」と回答した生徒は40%であり、これは、授業を通して保育への関心や知識が深まり、具体的な行動へと結びつく可能性を示唆していると考えられる。

	授業前	授業後
保育への関心	「ある」「とてもある」67%	「高まった」「とても高まった」92%
保育の仕事への関心	「ある」「とてもある」42%	「高まった」「とても高まった」81%
子どもの発達に関する知識	子どもの発達には段階があることを「知っている」44%	子どもの発達には段階があることが「理解できた」「よく理解できた」96%
保育検定	保育検定を「あまり知らない」「全く知らない」81%	保育検定にチャレンジしてみたいと「思う」「とてもそう思う」40%

授業で印象に残ったことの記述では、「幼稚園に通っていたときは、遊んでいる記憶しかなかったけれど、その遊びが大切だと感じた。」などという、遊びの重要性に気づいた記述が複数あり、遊びが子どもの心身の発達に不可欠な活動であるという本質的な意義を理解することができたといえる。また、他に多かった記述として、「幼児のお世話は大変というのを知ることができて、大切なことや気をつけることを学べたので体験の授業が印象に残っている。」や、「赤ちゃん人形での抱っこや授乳が意外に難しく、乳児に対してどう接すればよいのかを考えるのが難しかったことが印象に残った。」、「折り紙を子どもに教えながら自分も折るという活動をしたとき、どう教えたら伝わるかと考えて工夫するのが意外と難しく印象に残っている。」などの、実践的な体験活動に関するものが圧倒的であった。これは、基本的な乳児の養護に高度な配慮や思考力が不可欠であることを体感的に理解できたとともに、表現活動が子どもの立場に立った思考と表現を要する活動であることに気づき、保育実践におけるコミュニケーションの難しさを認識することができたといえる。これらの実感を伴う学びを通して、生徒の保育への関心は、より具体的かつ意欲的なものへと変化したことが推察される。

今回の実践を通して、家庭科の学びにおける体験の重要性を再認識することができた。体験することによって生徒は自分事として捉え、思考力や判断力を高めることができ、生活や社会でどのように活かすかという視点をもつことができる。さらに、検定に挑戦することによって目標達成への意欲を高め、学習内容を定着させるとともに、成果が目に見える形となることで自己肯定感を育むことができる。実社会で役立つ知識・技能を習得していることを証明でき、将来の進路選択にも役立つことから、より多くの生徒にこの検定の価値を伝え、積極的に挑戦させ、家庭科教育の一環として保育検定を一層広めていきたいと考えている。



学校名	岐阜県立大垣商業高等学校	所在地等	〒503-0002 岐阜県大垣市開発町4-300 TEL：0584-81-4483 Eメールアドレス（連絡先）： p45011@gifu-net.ed.jp		
校長名	増田 康宏				
指導者名	大橋 絵美	実施学科・学年	ビジネス科	科目名	家庭基礎
			ビジネス情報科 2学年	使用教科書	気づく力築く未来 (実教出版)

### 【研究テーマ】

「乳幼児の心身の発達について理解し、乳幼児の心に寄り添いながら、高校生としての望ましい関わり方を考え、実践に移す力を身に付けさせる。～学校家庭クラブ活動に折り紙を取り入れた保育の実践～」

### 【本校の概要と家庭クラブでの取組】

本校は、創立123年を迎える県下で最も歴史のある商業高校である。地元にはたくさんの企業があり、地域連携を積極的に行っている。コミュニケーション力が高く、活発な生徒が多く地域に出ていく活動を大切にしている。検定取得と部活動に意欲的に取り組む生徒が多く、活気のある学校である。

3年前より、地元企業から排出される残紙や残布などをいただき、アップサイクルのワークショップを家庭クラブ活動で実施している。市役所とイオンや自治会が連携して企画運営するイベントや、科学館、小学校、学童保育、保育園、子育て支援センターなどと本校が連携したお祭り等の行事に参加するなど、SDGsを通じた地域交流を行っている。「家庭基礎」を学習している2年生を中心に、「家庭基礎」をすでに履修した3年生を巻き込み、学校全体を巻き込んだ活動となっている。



本校から歩いて10分ほどの距離にある保育園とは、25年以上の交流がある。毎年保育園実習に行かせていただいているが、3年前より一緒に短くなったクレヨン回収し、再度溶かしてマーブルクレヨンにする活動をしている。また、廃材を活用した交流をしており、5歳児クラスの児童が本校を訪問してくれ、廃材を利用した節分などのイベントを一緒に楽しんでいる。

本校が家庭クラブで取り組んでいるアップサイクルの活動の中に、折り紙を組み込み一緒に活動できないかと考えた。そこで、この活動を通じて生徒たちが、子供の発達段階や遊びについての理解を深め、共に活動することでコミュニケーション力を養えないかと考え、単元指導計画を考えた。

### 単元名 A 人の一生と家族・家庭及び福祉

#### 内容のまとめ (3) 子供の生活と保育

#### 1 単元の目標

- (1) 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。
- (2) 子供を産み育てることの意義について考えるとともに、子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察する。
- (3) 家庭クラブ活動で活用している廃材に折り紙を組み込み、単元で学んだ知識や技術を生かし、乳幼児とのよりよい交流ができる。

## 2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解していると同時に、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。</li> <li>折り紙の基本的な技術を修得している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> <li>子供の発達過程や個人差、遊びの意義を理解しながら、乳幼児と適切なコミュニケーションがとれる。</li> </ul>	<p>様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>

## 3 指導と評価の計画(14 時間)

- 子供とは 1 時間
- 子供の発達 3 時間
- 子供の生活 5 時間
- 子供をはぐくむ 4 時間 (保育園実習 2 時間)
- 子供のための社会福祉 1 時間

※記録の★は定期考査により記録に残す評価

時間	【ねらい】・学習活動	重点	記録	備考 (・は評価規準 (□) は評価方法)
		<b>単元を貫く課題</b> 乳幼児の心身の発達について理解し、乳幼児の心に寄り添いながら、高校生としての望ましい関わり方を考え、実践に移す力を身に付けよう。		
1	<p>子供とは</p> <p>【ねらい】 生命の鼓動とあたたかさに触れる体験を通じて、健康の大切さと自分もこうして誕生してきたことを知らせ、生命への責任を自覚できる態度を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保健での学び(妊娠の成立)を思い出しながら、エコー写真と映像より、心臓がまず作られること、胎児の成長の速さに触れる。</li> <li>妊娠中の職員(2名)を授業に招き、胎児の心音を聞かせてもらうことで、命にふれる。</li> <li>妊娠中の職員(2名)の話聞き、同じ妊婦さんでも妊娠中の体調等が異なり個人差が大きいこと、喜びと不安が混在していることを知る。</li> <li>35歳を境に妊孕性が低下すること、様々なリスクが高くなることを資料より読み取り、自分の生き方と重ねて考える。</li> </ul>	<p>思①</p> <p>思②</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【思】①妊娠中は、体調等の個人差が大きいことを知り、どのようなサポート体制があるとよいかを自分事として捉え具体的に考えることができる。 □ワークシート</li> <li>【思】②妊娠出産には年齢の壁がある現実を知り、妊娠を望む場合、自分の生き方と重ね、どのようなことが大切になってくるのかを具体的に考えることができる。 □ワークシート</li> </ul>
2	<p>子供の発達</p> <p>【ねらい】 子供の心身の発達の仕方と特徴を理解し、子供の発達には大人とのかかわりが重要であることを理解し、子供と丁寧に関わろうとする気持ちを育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アタッチメントの形成は、コミュニケーションの形成に重要となってくることを知り、更にアタッチメントの形成にはスキンシップが重要であることを知る。</li> <li>大人とのかかわりのなかで、豊かな感性が育っていくことを理解し、アニミズム的思考に対して、どのような返答をしたらよいかを考える。</li> </ul>	<p>知①</p> <p>思③</p>	<p>★</p> <p>★</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知】①アタッチメントの形成は将来の人間関係の基盤となること、さらに形成される過程について理解している。 □定期考査</li> <li>【思】③アタッチメントの形成には、スキンシップが重要であることを理解し、子供との望ましいかかわり方について具体的に考えることができる。 □ワークシート □定期考査</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>新生児の人形の抱っこ体験をしながら、高校生と乳幼児の発育・発達、生理的特徴の違いを理解させる。 (首がすわっていない、頭が大きい、大泉門と小泉門、噴門部の違い、溢乳の対処などを抱っこをしながら確認する)</li> </ul>	<p>知②</p> <p>技①</p>	<p>★</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知】②乳幼児の身体的発育・発達と生理的特徴の違いについて理解している。 □定期考査</li> <li>【技】①新生児の抱っこの仕方、溢乳の対処法を身に付けている。 □行動観察</li> </ul>

4	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児期のVTRを見ながら、友だちとのやりとりや遊びの様子より、社会性、コミュニケーション、知的、感覚・運動機能の発達の変化をグループで出し合い付箋に書かせ、発達マップを作成する。</li> <li>教科書の発達のみやすと照らし合わせ確認する。その際に、あくまで資料はめやすであり、個人差が大きいことを確認する。</li> </ul>	知③ 思④ 態①	★ ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知】③乳幼児の一般的な発達のみやすを理解している。□定期考査</li> <li>【思】④グループで協働し、付箋を用いて乳幼児の発達過程について考察したことを、マップで表現している。更に活動の中から、乳幼児の発達には個人差が大きいことを導き出せる。 □制作物 □ワークシート</li> <li>【態】①主体的に取り組もうとしている。 □行動観察</li> </ul>
5	子供の生活①			
【ねらい】子供の基本的な生活習慣がどのように身についていくのかを知り、子供の食生活・衣生活・生活管理について学び、子供とかわる態度を養う。				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>2パターンの親と子の関わりについての資料を読み、それぞれのかかり方方の良い所と改善を見つけ、親や家族のかかり方や家庭生活が果たす役割の重要性について理解させる。</li> </ul>	思⑤ 知④	○ ★ ★	<ul style="list-style-type: none"> <li>【思】⑤乳幼児の生活習慣や生活管理において、親や家族の関わり方や家庭生活が果たす役割の重要性について理解し、親の望ましい養育態度について考えを深めている。 □ワークシート □定期考査</li> <li>【知】④乳幼児の健康管理と安全への配慮について理解している。□定期考査</li> </ul>
6	子供の生活②			
【ねらい】子供の遊びや意義、課題について理解し、乳幼児との交流に向けて廃材と折り紙を活用した遊びを工夫する。その際に、子供の年齢に応じた内容となるよう、これまでの学習を生かしたものになるよう工夫することができる。				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供の遊び方の変化や課題を知り、子供にとっての遊びの意義を理解する。</li> </ul>	思⑥	○ ★	<ul style="list-style-type: none"> <li>【思】⑥子供の遊びの今日的課題、子供にとっての遊びの意義を理解し、子供にどのような環境を整えることが大切かを具体的に考えることができる。 □ワークシート □定期考査</li> </ul>
7 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育園実習で、自分が担当する年齢の乳幼児の特徴を振り返りながら、折り紙と廃材を活用して、どのような遊びが一緒にできるのかを考え、作成する。</li> <li>実習で使用する名札を折り紙で作成する。</li> </ul>	技② 思⑦ 態②	○ ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【技】②年齢にあった折り方で、折り紙が折れる技術を身に付けている。□制作物</li> <li>【思】⑦これまでの学習をふまえ、担当する年齢にあった折り紙と廃材を活用した遊びを工夫できる。 □制作物 □ワークシート</li> <li>【態】②子供の気持ちに寄り添いながら、生徒自身が楽しんで、活動の準備に主体的に取り組んでいる。 □行動観察 □作品</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本の読み聞かせ体験を通じて、子供との望ましいかかわり方について考える。</li> </ul>	思⑧	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【思】⑧絵本の読み聞かせ体験を通じて、子供との望ましいかかわり方を理解し、絵本を読む実践で表現することができる。 □行動観察 □ワークシート</li> </ul>
10	子供をはぐくむ①			
【ねらい】子育てには、様々な人の協力が必要であることを知り、積極的に子供にかかわっていかうとする意欲を育む。				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新生児の3時間おきの授乳タイムを核家族でどのように乗り切っていくのかをイメージすることを通じて、子育ては一人では限界があることを知り、協力して育児にかかわる必要性を理解する。</li> </ul>	思⑨	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【思】⑨新生児のお世話を通じて、子育ては一人では限界があり、協力して育児にあたることの必要性を理解し、どのように自分は子育てにかかわっていきたいかを具体的に考えることができる。 □ワークシート</li> </ul>
11 12	子供をはぐくむ②(保育園実習)			
【ねらい】学習したことを踏まえ、子供たちと積極的にかかわることができる。実習を通じて、子供に対する理解を深める。				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>持参したおもちゃを使って、子供たちと積極的にかかわることができる。</li> </ul>	態③	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【態】③学んだことを生かして、子供たちと積極的にかかわろうと実践することができる。 □行動観察</li> </ul>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>持参したおもちゃでの交流を振り返り、上手くいった点やイメージしていた部分と異なった点をグループで話し合う。</li> </ul>	思⑩	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>【思】⑩イメージと異なった点や新しく気づいた点をグループで評価したり、改善したりできる。更に、個人差が大きいことなどに気づき、子供に対する理解を深めている。 □ワークシート □制作物</li> </ul>

14	<p style="text-align: center;">子供のための社会福祉①</p> <p>【ねらい】 家族の在り方や社会環境の変化により、育児不安や孤立感を持つ親や家族を、社会全体で支えていく必要性を理解する。</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休暇を取得した男性職員の VTR を視聴し、協力して育児をすることの必要性と現代社会が抱える課題に目を向け、それを支える社会的支援について調べる。</li> </ul>	<p>知⑤</p> <p>思⑩</p>	<p>★</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【知】 ⑤子育てを支える社会的支援について理解している。□定期考査</li> <li>・【思】 ⑩子育てにかかわる課題を多面的に捉え、子育てを社会全体で支えていくことの必要性について理解し、その制度が活用されていく社会となるよう、考えたことを論理的に表現できる。□ワークシート</li> </ul>
検定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身に付けた折り紙の技術を生かして、保育技術検定3級に挑戦する。</li> </ul>	<p>技③</p>	<p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【技】 ③折り紙の基本的な技術を身に付けている。□取り組みの観察と作品の出来栄</li> </ul>
<p>家庭科教員が1名であるため学年に依頼し、担任(副担任)に監督の協力を依頼し、7クラス一斉に検定を実施した。</p>				
授業外での活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園の送り迎えを通じて、保護者の生活と気持ちを体験する。(ペアで協力し、子供に見立てたぬいぐるみに名前をつけ、一週間、校内に作った保育園に子供の送迎を行う。)</li> </ul>	<p>思⑫</p> <p>態④</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【思】 ⑫ペアで協力することを通じ、子育ての一部を体験し、親になること、子供を育てること、子育ての楽しさ、大変さなど、学習した内容を具体的に体感し、自分のこれまでを振り返り、これから考えることができる。□ワークシート □活動日誌</li> <li>・【態】 ④保育分野すべての学習を振り返り、自分や家庭、地域のために自分にできることを実践しようとしている。□ワークシート □家庭クラブ活動</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児にとってのおやつの意味を理解し、おやつを作ってみる。</li> </ul>	<p>態⑤</p>	<p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【態】 ⑤乳幼児にとって補食となるおやつを作ろうと主体的に取り組んでいる。□ワークシート □調理したおやつ</li> </ul>
家庭クラブ	<p>折り紙×廃材を用いた交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小野小学校、木の花保育園、星和中学校、大垣東中学校と協力してクレヨンの回収をし、地域のイベントで、マーブルクレヨンにするアップサイクルを実施。</li> <li>・地域のイベントにて、残紙に秋をテーマにした壁面を制作。折り紙を折ったものや廃材を持参し、アップサイクルしたマーブルクレヨンでお絵描き。当日は、折り紙を高校生が教え、一緒に折る活動も実施。</li> </ul>			

【参考文献】

- ・赤ちゃん大図鑑 Dr リノ こげの まさき 角川書店 ・日本のおりがみ辞典 山口真 著 ナツメ社
- ・おりがみいっぱい 大泉書店 ・VTR 子供の成長～新生児から幼児まで～ 教育図書
- ・VTR 全国高等学校家庭科 保育技術検定 4級・3級対応

4 年間を通じた授業内での折り紙の取組

- 4月・・・今年のテーマ 大商×SDGs×廃材 を伝え、折り紙が活動に入ってくることを伝え、検定の概要を知らせる。「春」をテーマに自由に折らせる。
- 5月・・・こどもの日にちなんで、「かぶと」を折る。
- 6月・・・梅雨時期に合わせて「あじさい」を折り、クラスで大きなあじさいを作成。
- 7月・・・「夏」をテーマに自由に折らせる。
- 9月・・・保育園実習で使用する「メダル」を折り紙で作成し、廃材を紐として活用する。
- 10月・・・「秋」をテーマに自由に折らせ、折ったものは地域イベントで活用。
- 11月～12月・・・保育園実習で使用する「名札」を折り紙で作成。実習で子供たちと一緒に遊ぶ「おもちゃ」を折り紙と廃材で作成。
- 12月・・・全員3級を受検

5 折り紙の活用例

① 折り紙を活用した「名札」の作成



自分の担当する子供たちの、年齢や部屋の名前を意識した名札を各々で制作。使用する折り紙の色や名前の大きさなど、子供たちを意識した名札を制作することができた。



② 地域との交流



地域のイベントに参加し、残紙で秋の壁面を作成。対象が小学生であったため、折り紙は高校生が折ったものを張り付けたり、実際に好きなものを折れる体験もできるようにした。一緒に作成したマーブルクレヨンでお絵描きもできるようにした。



③ 折り紙と廃材を活用した「おもちゃ」制作 (保育園実習)



担当する子供の発達を確認しながら、どのようなおもちゃを用意していくとよいかをグループごとに話し合いを重ね、作製をした。



1歳児(ひよこ)

【あそび】「魚釣り」

【製作物と遊びの内容】

海の生き物を折り紙で折り、クリップを取り付ける。竿の先にマグネットをくっつけ、魚釣りを行う。

【生徒が考えた注意点やアイデア】

- ・クリップが落ちて飲み込まないように、クリップをテープでしっかりと固定。
  - ・木の棒に廃材の紐を巻き付けて竿を作成。怪我をしないよう工夫。
  - ・魚の目だけシールで作成し、子供たちに貼ってもらうようにした。
  - ・池には残紙と廃材の紐を活用した。
  - ・子供たちが喜ぶように、カラフルな色の折り紙を使用した。
  - ・釣った魚を持って帰ってもらえるよう、網を用意。
- その際に留めるものは、廃材を活用した生地を使用し、リボンにした。



2歳児(うさぎ)

【あそび】「動物園を作ろう」

【製作物と遊びの内容】

様々な動物を折り紙で折って持参。残紙に糊で張り付け、動物園を作っていく。マーブルクレヨンを活用し、お絵描きも行い壁面を作る。

【生徒が考えた注意点やアイデア】

- ・両面テープは剥がしにくいと予想し、糊で張り付けることにした。
- ・折り紙はまだ折れないと予想し、子供たちが好きそうな動物を高校生が折って持参。
- ・折り紙をちぎることはできると考え、折り紙をちぎって糊で貼るよう準備。
- ・活動する前に、好きな動物をたずね、気持ちを上げる。



3歳児(りす)

【あそび】「お弁当を作ろう」

【製作物と遊びの内容】

いろんなおかずを作成し、好きなようにお弁当箱に詰めていく。

【生徒が考えた注意点やアイデア】

- ・ただ詰めるだけではつまらないため、卵焼きだけ自分で作るようにした。
- ・まだ折り紙を折ることは難しいと判断し、折り紙を折りたたむだけの単純な卵焼きにした。
- ・お店屋さんごっこをしながら、楽しんでおかず選びができるようにした。
- ・トングは木のスプーンで作成した。



### 3歳児(ペンギン)

【あそび】「かえるを飛ばそう」

【製作物と遊びの内容】

ぴよんぴよんがえるを折ったものを持参し、カエルのレースを行う。

【生徒が考えた注意点やアイデア】

- ・折り紙を折ることは難しい年齢だと考え、折った折り紙を活用して、遊べないかと考えた。
- ・ただ遊ぶだけでは楽しくないため、クレヨンで自分のカエルに変身させる。
- ・飛ばし方にコツが必要なため、グループごとに練習をしてからレースに挑戦。
- ・5人1組でレースを行い、一番飛ばせた子に折り紙の金メダルをプレゼント。全員に折り紙で作成したメダルを用意。
- ・メダルをかける紐は、廃材を活用した。



### 4歳児 ぱんだ

【あそび】「沖縄を作ろう」

【製作物と遊びの内容】

沖縄に修学旅行に行くため、みんなで沖縄をテーマに、壁面作成。

【生徒が考えた注意点やアイデア】

- ・4歳児クラスは5歳児になった子も多く在籍すると考え、実際に折り紙を一緒に折ってみることにした。
- ・どれくらいの難易度であれば折れるのかをグループで相談。
- ・難易度が高いのではないかと折り紙もあったが、やってみて気が付くこともあると考え、実践してみることにした。
- ・折りたいものを子供たちに聞いて、グループを作り、高校生が教える。
- ・マーブルクレヨンをつづつプレゼントし、残紙を活用してお絵描きも行った。



### 5歳児(ぞう)

【あそび】「巨大紙飛行機を飛ばそう」

【製作物と遊びの内容】

残紙を活用し、紙飛行機を折る。だんだん用紙を大きくしていき、巨大紙飛行機は飛ぶのかを子供たちと一緒に実験。

【生徒が考えた注意点やアイデア】

- ・15 cm×15 cm→50 cm×50 cm→2m×2mと用紙をだんだん大きくしていき、全員で巨大紙飛行機を折ったのち、園庭で飛ばしてみる。
- ・子供たちがどうしたら、わくわくするのかを工夫。
- ・折り紙が折れる年齢であるため、ちょっと変わった紙飛行機にチャレンジ。
- ・残紙を活用することで、アップサイクルにつなげる。



## 6 保育検定実施の成果と課題

〔成果〕

- ・商業の検定に慣れているためか、受検に対しての抵抗感はなく、楽しみにしている生徒が多かった。「今日は折り紙しないの?」と聞いてきたり、あやとりなどの遊びに派生したり、紙があれば無意識に何か折ってしまう姿がみられ、微笑ましかった。
- ・子供の年齢に応じた遊びを、折り紙を通して考えることで、子供の発達や遊びの意義についても理解を深めることができた。
- ・実際に実習に行き、子供によって理解度やできることに個人差があることに気づき、言葉かけや説明の仕方等工夫している姿がみられた。
- ・検定のために折り紙をするのではなく、授業のテーマの中で折り紙を活用し、その身に付けた技術で「検定」に挑戦してみようと思えてよかった。
- ・令和7年12月24日 保育技術検定3級を実施。  
280名受検 欠席12名 不合格7名 合格261名

〔課題〕

- ・家庭科教員が1人のため、全クラス実施となると他の職員に依頼をする形となるため、日頃から家庭科の取組が子供たちにとって、必要なものであると感じてもらえる授業を展開していく必要性を改めて感じた。
- ・全体的に保育に費やす授業時間が多くなってしまった。



学校名	岡山県立興陽高等学校	所在地等	〒701-0297 岡山市南区藤田1500		
校長名	中野 功		TEL : 086-296-2268 Eメールアドレス (連絡先) : koyohigh@pref.okayama.jp		
指導者名	秋山 美佳	実施学科 ・学年	家政科・1年	科目名	家庭総合
				使用教科書	家庭総合 (東京書籍)

### 1 単元名 子供と共に育つ

### 2 単元の目標

- (1) 乳幼児期の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について理解を深め、子供の発達に応じた適切に関わるための技能を身に付ける。また、子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉について理解を深める。
- (2) 子供を生み育てることの意義や、保育の重要性について考え、子供の健やかな発達を支えるために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性を考察するとともに、子供との適切な関わり方を工夫する。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。

### 3 単元の評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期の心身の発達や生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。</li> <li>・子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉について理解を深めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</li> </ul>

### 4 指導上の立場

#### ○単元観

本単元では、乳幼児期の心身の発達とそれを支える生活、子供の遊びと文化、子供が育つ環境と福祉、子育て支援、子供との関わり方について取り上げる。特に子供との関わり方の学習については、実践的・体験的な学習活動を通して、単なる知識の習得にとどまることなく、将来活用できる技能が身に付けられるよう工夫する。また、子供を生み育てることの意義、親や家族及び地域や社会の重要性について考察させることで、子育てを取り巻く社会環境の課題、社会全体での子育て支援の必要性が理解できるようにする。

#### ○生徒観

保育分野は高校生にとって興味関心が高い分野の一つであり、学ぶことに対して意欲的な生徒が多いが、日常的に子供と触れ合うことがある生徒はクラスの中で1割程度である。子供のイメージを尋ねたところ、「かわいい」と思っている生徒が大部分であるが、「どう接していいのかわからない」という思いをもつ生徒も2割程度見られた。中学時に「赤ちゃん訪問」や「保育園へのプレゼント製作」を行った生徒も一部いるが、保育に関する学習を進める際、経験に基づいた自分の課題としてとらえることが難しい生徒が多いと考えられ、実践的・体験的な指導上の工夫が必要と考えられる。

#### ○指導観

本単元では、実践的・体験的な指導の工夫として、家庭科保育技術検定3級を活用する。本検定は、評価基準が具体的に示されており教師が指導しやすいことに加え、生徒も学習の目標を立てやすく意欲的に取り組むことができるため、保育技術を身に付けさせる上で効果的である。合格という目に見える形で、学びが確認できることも生徒の意欲を引き出すことにつながる。子供を生み育てることの意義や子育てを取り巻く社会環境の課題について考えさせるグループ活動では、情報収集や課題提示のためのプレゼン作成等に一人一台端末 (iPad) を活用する。

### 5 指導と評価の計画

本校では、家庭総合 (4単位) を、2単位ずつ家庭総合A、家庭総合Bに分けて指導している。

保育分野は、家庭総合Aで扱い、保育検定もこの時間で行っている。

■以下、家庭総合Aの保育分野の計画を示す。

配当 時数	学習活動	評価 観点	評価 記録	評価規準及び評価方法
2	ねらい <b>命を育む</b> ・母体の変化と胎児の成長について理解し、母体の状況が胎児の発達に及ぼす影響に気づくことができる。			
	・受精から出産までの母体の変化と胎児の成長について理解する。 ・妊娠の各時期に気をつけることを調べ、まとめる。	知① 主①	○ ○	【知①】母体の変化と胎児の成長について理解している。 【ワークシート・定期考査】 【主①】妊娠期に気をつけることについて調べようとしている。 【ワークシート・行動観察】
5	ねらい <b>子供の育つ力を知る</b> ・子供の生まれつき持っている能力や心身の発達、子供の遊びについて理解する。			
	・子供の生まれつきもっている能力について理解する。 ・子供の心身の発達について理解し、個人差が大きいことを確認する。 ・子供の発達段階に合わせて遊びが変化していくことを理解し、それぞれの時期にどのような遊びが行われるかを考える。	知② 思①	○ ○	【知②】子供の身体的・心理的発達段階を理解し、発達過程に合わせた遊びを理解している。 【ワークシート・定期考査】 【思①】遊びの種類や仲間との関わり方について考え、記述している。 【ワークシート・定期考査・行動観察】
3	ねらい <b>子供と関わる</b> ・子供の生活習慣や、子供の生活・健康について理解する。			
	・子供の基本的な生活習慣の形成について理解する。 ・子供の食生活、衣生活を支えるために保育者が気をつけることを理解する。 ・子供の健康・安全を守るためにできることや、日常生活に潜む危険を考え、保育者としてどのような行動ができるか自分の考えまとめる。	知③ 思③	○ ○	【知③】子供の生活習慣と、食生活・衣生活を支えるための留意点について理解している。 【ワークシート・定期考査】 【思③】保育者として、子供の健康と安全を守るためにできることを考えている。 【ワークシート・行動観察】
9 *本時	ねらい <b>子供の発達に応じて適切に関わるための技能</b> ・保育検定3級の取組を通して、子供への接し方を学ぶ。 ・個々の子供の発達の段階に応じて適切に関わるための技能を身に付ける。 ・子供と触れ合う際の表現方法を考える。			
	※保育検定3級の取組を通して、子供への接し方を学ぶ。 ・歌唱について、拍子を取りながら、童謡を笑顔で歌う。 ・言語表現について、相手の目を見てはっきりした発語で読み聞かせをする。 ・家庭看護について、発達段階に応じた乳幼児の世話の仕方を知り、愛情の表現方法を考える。 ・造形表現について、折り図を見て角や折れ線を正確に折る。	知技④ 知技⑤ 知技⑥ 思④ 知技⑦	○ ○ ○ ○ ○	【知技④】拍子を正確に打ち、相手に歌いかけができる。 【実技テスト・行動観察】 【知技⑤】相手の目を見ながら、はっきりとした発語で読み聞かせができる。【実技テスト・行動観察】 【知技⑥】発達段階に応じた乳幼児の世話ができる。 【実技テスト・行動観察】 【思④】発達段階に応じた愛情の表現方法を考えている。 【ワークシート・行動観察】 【知技⑦】折り図を見て、角や折れ線をきれいに折り、作品を作ることができる。【実技テスト・行動観察】
4	ねらい <b>これからの保育環境</b> ・現代の子育て環境の変化や課題について理解し、子供が健やかに育つための社会づくりについて考える。			
	・現代の子育て環境の変化について確認し、どのような課題があるのかを調べる。 ・調べた課題から問題を見出し、解決策を考えまとめる。 ・子供と親を支える法制度を理解する。	主② 思⑤ 知⑧	○ ○ ○	【主②】現代の子育て環境の変化に伴う課題について調べようとしている。【ワークシート・行動観察】 【思⑤】現代の子育て環境の問題を見出し、解決策を考えまとめている。【ワークシート・行動観察】 【知⑧】子供と親を支える法制度を理解している。 【ワークシート・定期考査】

6 本時案

(1) 本時の目標

言葉かけが乳児に与える効果と、適切な言葉かけを考えることができる。【思・判・表】

(2) 展開

学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
1 本時の目標と学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち物、身だしなみを確認する。</li> <li>・前時の確認をする（乳児の検温の仕方）。</li> <li>・本時の目標と学習内容、学習の流れを伝える。</li> </ul>	
<p><b>目標</b> 世話の場面を想定して、乳児への適切な言葉かけや言葉かけの大切さを考えよう。</p>		
2 乳児の世話をするとき大切に思うことを挙げる。	<p>各班で考えさせ、発表させる。適宜声かけを行い、活動への参加を促す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 身だしなみ、清潔に関すること。</li> <li>2) 危険なものを置かないなど安全面に関すること。</li> <li>3) 話しかけながら世話をする、触れ合うなど愛情表現に関すること。等</li> </ol> <p>本時は3) について、なぜ大切なのか考えることを伝える。</p>	
3 乳児への言葉かけを考える。	<p>次の場面における、乳児の世話の流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>赤ちゃんが泣いています。発熱しているようです。体温を測り、抱き上げてあやして寝かせましょう。</p> </div> <p>乳児の状況に応じた言葉かけを考え、付箋に書くよう指示する。言葉かけを「A 行為に対するもの」「B 心に対するもの」に分けて分類させるようにする。</p>	
4 乳児の世話を各班でロールプレイングする。	<p>保育人形で、実際に考えた言葉かけをしながら、次の2パターンで行うようにさせる。（班活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「A 行為に対するもの」のみの言葉かけ。</li> <li>・「A 行為に対するもの」「B 心に寄り添ったもの」の両方の言葉かけ。</li> </ul>	
5 言葉かけはなぜ大切なのかを考える。（発表3～4班）	<p>班で気づきを出し合わせる。</p> <p>保育者側の視点だけでなく、乳児がどのように感じると思うかという視点からも考えさせる。</p> <p>〈想定される意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動が言葉で認知できると安心する。</li> <li>・大切にされていると感じる 等</li> </ul> <p>言い方も大切であることにも気づかせる。</p>	
6 言葉かけが乳児の愛着形成に影響を与えることを確認する。	<p>発表内容を受け、乳児にとって、言葉は理解できなくても、言葉かけが、乳児の愛着の形成につながることを、教科書でも確認させる。</p>	
7 まとめ	<p>本時の授業内容を振り返り、なぜ言葉かけが大切なのかを、具体的な言葉かけの言葉とともにまとめさせ、*フォームで回答させる。</p>	<p>言葉かけの大切さを具体的な言葉かけの言葉とともに説明できる。 (*フォーム) 【思・判・表】</p>
<p><b>まとめ</b> 乳児への言葉かけは、乳児が安心して世話を受け入れることにつながるとともに、保育者への信頼が深まることで、「愛着」形成に重要な役割を果たす。</p>		
8 次時の予告を聞く。	<p>次時は、保育検定3級に向け、自分の世話の様子を iPad で撮影して確認することを伝える。</p>	

◎「おおむね満足できる」状況 (B) と判断する生徒の姿の例 「幼児の言葉掛けの大切さを、自分の言葉で説明している。」

(3) 準備物 教科書、ファイル、保育人形、マット、ガーゼ、体温計、iPad、付箋

《保育検定3級の取組について》

本校では前述したように、家庭総合（1年生4単位）の中で保育検定3級の指導をしている。実技検定時は、各種目、教科担当教員以外の家庭科教員が加わり、複数で実施している。

授業に保育検定を取り入れることで、子供の発達や保育の基本技術を実践的、協働的に学ぶことができる。しかし一方では、授業時間内だけで練習が足りず、放課後や自宅での自主練習の時間の確保や、保育人形の数や練習場所の確保など、環境面において難しい面があることも否めない。生徒一人一人苦手分野は異なり、一人の教員では指導が行き届きにくいと感じることもある。

本時で取り上げた家庭看護技術は、抱っこ、授乳、検温など、乳幼児の発達段階や心身の状態に応じた日常生活の世話を体験的に学ぶことで、子供の気持ちを想像し、適切な言葉かけや触れ合いをする力を養う。高校生の多くは乳児との接触経験は少なく、保育人形を用いても実感が湧きにくい。また検定では授乳前にミルクの温度を確認する、検温では腋下の汗を拭く、体温計の角度を調整するなど、細やかな順序と配慮が求められる。その中で、ともしれば順序や動きばかり覚えて、実践しようとするが、忘れてならないのは乳児に対して信頼関係を育むための関わり方や言葉かけである。家庭看護技術は、単なる技術習得ではなく、子供へ接する姿勢を育てる分野でもある。そのため、授業では言葉かけについて、「行為に対するもの」「心に寄り添ったもの」に分けて考えさせた。分けて考えることで言葉かけのバリエーションが広がり、子供が安心する言葉かけを考えることができるようになった。

〔\*フォーム〕 使用するフォームはA4サイズ2枚、項目のみ抜粋

言葉かけと愛着形成～乳児の安心感を育む関わり～

( / )

1年H組 ( ) 番 ( )

1. 乳児の世話をするとき大切なこと

自分の意見	グループの意見
-------	---------

2. 言葉かけを考えよう！

赤ちゃんが泣いています。発熱しているようです。体温を測り、抱き上げてあやして寝かせましょう。

行為	A：行為に対する言葉かけ	B：心に寄り添った言葉かけ
体温計測の準備	例) 体温を測ろう	例) 熱があるかな。
体温の計測		
抱き上げ		
寝かせる		

3. ロールプレイングを通して・・・

A の言葉かけのみ	A+B の言葉かけ
気づき	

4. 言葉かけはなぜ大切なのか考えよう！

5. まとめ・・・



## 《 技術検定関係資料 》

1	令和6年度 被服製作・食物調理技術検定 都道府県別申込者数・受検者数・合格者数一覧	26
2	令和7年度 被服製作・食物調理技術検定 都道府県別申込者数・受検者数・合格者数一覧	29
3	令和6年度 保育技術検定 都道府県別申込者数・受検者数・合格者数一覧	32
4	令和7年度 保育技術検定 都道府県別申込者数・受検者数・合格者数一覧	35
5	「三冠王」都道府県別取得者数の推移	38
6	「三冠王」取得学校名及び取得者数の推移	39
7	「四冠王」取得学校名及び取得者数の推移	41

1 令和6年度 被服製作・食物調理技術検定  
都道府県別申込者数・受検者数・合格者数一覧

単位：人

都道府県	分野	被服製作技術検定						食物調理技術検定				合計
	種目	被服	被服	和服	洋服	和服	洋服	4級	3級	2級	1級	
	級	4級	3級	2級	2級	1級	1級	4級	3級	2級	1級	
北海道	申込	152	113	50	45	37	34	375	240	79	83	1,208
	受検	151	110	50	44	33	33	363	237	79	81	1,181
	合格	147	96	42	40	21	21	333	183	66	67	1,016
青森県	申込	166	193	117	106	53	65	658	390	201	189	2,138
	受検	163	188	108	104	51	61	632	382	199	187	2,075
	合格	162	177	89	87	33	50	540	347	182	175	1,842
岩手県	申込	545	209	85	46	10	26	1,184	638	287	194	3,224
	受検	536	206	82	46	10	25	1,158	628	285	192	3,168
	合格	527	194	68	44	10	23	1,117	619	267	174	3,043
宮城県	申込	234	59	17	24	16	13	548	396	124	61	1,492
	受検	223	57	16	23	15	11	535	378	117	54	1,429
	合格	208	47	12	15	7	8	517	357	85	40	1,296
秋田県	申込	282	113	63	58	46	44	471	337	182	100	1,696
	受検	267	109	62	57	45	44	460	331	178	95	1,648
	合格	234	103	48	55	35	41	453	315	161	93	1,538
山形県	申込	92	75	23	50	22	35	313	243	133	76	1,062
	受検	89	75	23	49	21	35	306	234	131	73	1,036
	合格	88	71	22	42	21	35	279	212	129	61	960
福島県	申込	333	166	80	26	27	11	561	340	123	64	1,731
	受検	324	165	79	26	26	10	549	333	121	63	1,696
	合格	322	164	70	26	19	10	546	319	110	56	1,642
茨城県	申込	490	391	179	197	76	81	640	484	264	216	3,018
	受検	479	384	178	193	75	80	626	470	260	213	2,958
	合格	463	351	158	165	63	75	559	417	225	197	2,673
栃木県	申込	610	235	96	147	28	73	1,611	733	252	157	3,942
	受検	601	234	92	147	28	73	1,565	715	249	156	3,860
	合格	474	220	89	143	26	72	1,399	658	241	155	3,477
群馬県	申込	432	225	51	81	6	20	986	418	59	15	2,293
	受検	421	222	51	78	6	19	970	414	54	15	2,250
	合格	347	185	25	40	5	17	761	336	34	15	1,765
埼玉県	申込	700	274	50	92	58	46	1,581	633	104	39	3,577
	受検	663	263	50	89	57	43	1,548	614	102	38	3,467
	合格	592	239	46	74	39	36	1,471	547	100	33	3,177
千葉県	申込	357	273	77	141	52	87	436	350	181	171	2,125
	受検	336	270	76	140	52	87	427	341	178	170	2,077
	合格	307	218	71	130	51	80	357	298	169	164	1,845
東京都	申込	216	130	39	39	15	11	361	184	97	50	1,142
	受検	209	126	39	37	14	11	352	177	95	50	1,110
	合格	183	114	32	32	5	9	264	146	77	42	904
神奈川県	申込	83	62	40	30	3	6	164	83	58	13	542
	受検	80	62	40	30	3	5	154	79	57	13	523
	合格	68	49	35	28	3	3	131	72	48	10	447
山梨県	申込	215	101	37	18	12	11	527	262	63	25	1,271
	受検	213	101	37	18	11	11	524	253	63	25	1,256
	合格	204	96	30	18	11	10	518	238	56	23	1,204
新潟県	申込	401	207	0	9	0	1	990	538	148	69	2,363
	受検	389	198	0	7	0	1	974	524	148	69	2,310
	合格	369	167	0	6	0	1	925	498	141	69	2,176

都道府県	分野	被服製作技術検定						食物調理技術検定				合計
	種目	被服	被服	和服	洋服	和服	洋服	4級	3級	2級	1級	
	級	4級	3級	2級	2級	1級	1級					
富山県	申込	222	152	89	53	24	19	356	284	119	32	1,350
	受検	209	152	87	50	24	19	337	269	117	31	1,295
	合格	195	138	81	42	21	17	309	246	102	30	1,181
石川県	申込	80	32	0	0	0	0	154	76	23	21	386
	受検	74	28	0	0	0	0	146	72	23	19	362
	合格	65	11	0	0	0	0	121	63	22	19	301
福井県	申込	150	148	43	105	1	15	228	165	143	69	1,067
	受検	148	145	42	103	1	15	225	160	143	68	1,050
	合格	148	131	37	100	1	15	197	148	126	54	957
長野県	申込	131	107	72	56	52	31	236	120	100	71	976
	受検	127	101	66	51	52	31	233	120	99	70	950
	合格	118	75	44	40	32	22	211	116	83	60	801
静岡県	申込	237	144	58	60	50	42	597	527	295	179	2,189
	受検	237	142	58	58	50	42	593	514	283	176	2,153
	合格	219	126	33	35	22	34	571	451	252	144	1,887
愛知県	申込	1,409	1,141	135	441	48	115	1,618	1,127	600	288	6,922
	受検	1,368	1,120	133	434	48	113	1,574	1,100	590	282	6,762
	合格	1,290	992	125	388	45	97	1,440	1,028	530	221	6,156
岐阜県	申込	694	453	43	177	11	36	960	603	306	136	3,419
	受検	686	440	41	172	9	36	936	590	296	135	3,341
	合格	601	354	32	133	8	27	826	545	259	128	2,913
三重県	申込	321	253	55	77	34	54	479	426	255	146	2,100
	受検	318	251	53	74	34	54	472	419	253	141	2,069
	合格	302	209	51	66	26	44	445	400	241	132	1,916
滋賀県	申込	82	49	0	0	0	0	154	116	50	24	475
	受検	82	49	0	0	0	0	150	115	50	23	469
	合格	82	40	0	0	0	0	135	109	49	23	438
京都府	申込	28	10	3	2	2	0	177	130	52	29	433
	受検	26	10	3	2	2	0	163	126	52	29	413
	合格	23	5	2	2	0	0	103	64	16	10	225
大阪府	申込	69	0	0	0	0	0	141	113	26	0	349
	受検	68	0	0	0	0	0	135	110	26	0	339
	合格	66	0	0	0	0	0	127	93	24	0	310
兵庫県	申込	392	239	110	111	52	47	993	580	308	218	3,050
	受検	387	234	106	109	52	45	983	565	304	215	3,000
	合格	348	207	93	99	47	43	824	513	281	209	2,664
奈良県	申込	61	36	11	14	0	0	27	20	9	4	182
	受検	61	35	9	14	0	0	27	20	9	4	179
	合格	58	34	8	13	0	0	27	20	8	4	172
和歌山県	申込	41	16	2	0	1	0	163	129	23	0	375
	受検	41	16	2	0	1	0	161	128	22	0	371
	合格	41	16	2	0	1	0	153	106	21	0	340
鳥取県	申込	185	131	63	76	27	24	256	218	117	29	1,126
	受検	181	130	61	74	27	23	252	218	112	29	1,107
	合格	148	100	45	54	24	16	245	193	87	26	938
島根県	申込	97	43	4	5	0	0	461	123	55	20	808
	受検	96	42	4	5	0	0	454	118	55	20	794
	合格	83	40	4	5	0	0	343	111	45	15	646

都道府県	分野	被服製作技術検定						食物調理技術検定				合計
	種目	被服	被服	和服	洋服	和服	洋服	4級	3級	2級	1級	
	級	4級	3級	2級	2級	1級	1級	4級	3級	2級	1級	
岡山県	申込	549	539	170	284	93	105	1,051	714	406	231	4,142
	受検	538	526	164	275	91	102	1,023	672	386	228	4,005
	合格	526	440	146	234	75	84	920	581	336	204	3,546
広島県	申込	348	194	186	162	137	123	504	327	220	212	2,413
	受検	339	194	184	159	137	123	486	320	217	209	2,368
	合格	296	166	135	129	87	105	438	283	186	144	1,969
山口県	申込	371	190	102	83	39	27	533	374	231	161	2,111
	受検	361	188	101	82	37	26	523	364	216	153	2,051
	合格	340	173	84	78	22	26	482	312	182	122	1,821
徳島県	申込	185	36	0	22	0	15	302	226	101	77	964
	受検	184	33	0	22	0	14	300	222	99	77	951
	合格	169	29	0	17	0	4	295	208	96	73	891
香川県	申込	119	128	30	49	14	29	315	373	136	78	1,271
	受検	118	124	29	47	14	28	308	362	124	76	1,230
	合格	117	114	28	35	12	19	282	280	104	72	1,063
愛媛県	申込	222	162	70	51	54	22	642	373	164	124	1,884
	受検	217	153	70	51	53	22	632	367	159	123	1,847
	合格	183	143	56	48	36	21	568	323	126	102	1,606
高知県	申込	163	55	8	7	0	0	336	172	94	10	845
	受検	158	50	8	7	0	0	325	167	90	9	814
	合格	125	43	6	4	0	0	281	140	81	7	687
福岡県	申込	696	583	191	323	120	163	1,423	1,132	556	308	5,495
	受検	674	560	187	317	115	162	1,368	1,091	540	294	5,308
	合格	594	495	139	248	83	150	1,265	957	480	276	4,687
佐賀県	申込	204	120	91	52	0	25	492	317	191	110	1,602
	受検	199	118	91	52	0	24	483	307	186	109	1,569
	合格	197	106	69	41	0	11	456	279	169	107	1,435
長崎県	申込	262	258	163	184	133	127	286	273	232	178	2,096
	受検	257	253	159	183	133	127	279	265	222	173	2,051
	合格	245	208	133	148	103	103	279	238	194	150	1,801
熊本県	申込	391	279	135	159	50	21	2,039	638	390	90	4,192
	受検	370	271	132	156	49	20	2,011	618	347	85	4,059
	合格	345	228	101	132	36	18	1,752	476	266	51	3,405
大分県	申込	106	62	19	36	15	9	338	253	151	117	1,106
	受検	98	58	18	36	15	9	326	244	141	116	1,061
	合格	92	58	16	29	13	8	315	230	110	103	974
宮崎県	申込	358	249	94	132	65	70	358	255	172	86	1,839
	受検	347	241	90	129	62	65	351	253	166	82	1,786
	合格	329	212	72	112	47	58	321	239	141	64	1,595
鹿児島県	申込	561	570	275	364	89	118	741	653	340	172	3,883
	受検	550	562	271	360	88	115	725	628	330	169	3,798
	合格	518	486	242	317	75	99	624	551	293	159	3,364
沖縄県	申込	293	87	14	41	20	21	810	391	164	69	1,910
	受検	285	86	12	40	18	21	800	388	152	66	1,868
	合格	265	72	9	30	15	10	777	348	130	55	1,711
合計	申込	14,335	9,292	3,240	4,235	1,592	1,822	28,576	17,497	8,384	4,811	93,784
	受検	13,948	9,082	3,164	4,150	1,559	1,785	27,924	17,022	8,125	4,705	91,464
	合格	12,823	7,942	2,630	3,524	1,180	1,522	25,302	15,213	7,131	4,138	81,405
受検率(受/申) %		97.3	97.7	97.7	98	97.9	98	97.7	97.3	96.9	97.8	97.5
合格率(合/受) %		91.9	87.4	83.1	84.9	75.7	85.3	90.6	89.4	87.8	87.9	89

2 令和7年度 被服製作・食物調理技術検定  
都道府県別申込者数・受検者数・合格者数一覧

単位：人

都道府県	分野	被服製作技術検定						食物調理技術検定				合計
	種目	被服	被服	和服	洋服	和服	洋服	3級	2級	準1級	1級	
	級	3級	2級	準1級	準1級	1級	1級	3級	2級	準1級	1級	
北海道	申込	132	71	47	40	40	40	373	255	70	39	1,107
	受検	128	68	47	39	40	39	366	242	68	38	1,075
	合格	124	56	32	32	27	23	298	189	51	29	861
青森県	申込	158	157	105	117	39	61	546	382	153	160	1,878
	受検	157	156	99	116	39	61	537	376	151	156	1,848
	合格	154	141	80	102	27	45	451	329	137	141	1,607
岩手県	申込	496	203	75	31	5	26	1,188	590	306	194	3,114
	受検	490	200	73	31	5	26	1,168	582	303	187	3,065
	合格	479	192	72	31	5	26	1,119	561	279	178	2,942
宮城県	申込	171	57	24	21	15	11	528	406	140	62	1,435
	受検	167	56	22	20	15	11	511	384	122	55	1,363
	合格	150	45	14	15	9	8	490	323	85	36	1,175
秋田県	申込	241	138	55	46	24	37	693	331	172	82	1,819
	受検	237	136	55	46	24	37	680	326	168	81	1,790
	合格	223	126	50	43	20	34	621	286	152	72	1,627
山形県	申込	67	46	0	32	20	21	254	195	120	82	837
	受検	65	42	0	32	19	21	251	190	118	82	820
	合格	58	36	0	29	19	21	236	160	112	77	748
福島県	申込	720	161	68	41	30	20	677	365	136	77	2,295
	受検	716	158	67	39	29	20	658	358	134	75	2,254
	合格	714	154	63	38	26	16	645	327	122	57	2,162
茨城県	申込	463	380	191	165	84	83	607	464	279	222	2,938
	受検	457	376	184	165	83	83	597	457	275	217	2,894
	合格	411	325	164	141	79	77	539	363	243	197	2,539
栃木県	申込	703	254	118	137	21	68	1,577	730	275	162	4,045
	受検	678	250	114	135	20	67	1,532	718	271	161	3,946
	合格	565	233	99	124	18	66	1,389	585	264	158	3,501
群馬県	申込	253	159	62	91	6	17	1,019	413	80	19	2,119
	受検	245	154	60	90	6	17	993	413	66	19	2,063
	合格	222	112	28	47	5	15	831	306	51	14	1,631
埼玉県	申込	695	278	41	96	46	49	1,559	628	102	47	3,541
	受検	673	273	40	95	45	49	1,537	620	99	47	3,478
	合格	601	241	33	81	34	46	1,400	524	97	42	3,099
千葉県	申込	376	304	71	128	48	79	458	285	193	137	2,079
	受検	357	298	70	127	48	78	442	278	190	137	2,025
	合格	337	250	61	125	44	74	378	215	180	133	1,797
東京都	申込	203	138	35	40	29	26	372	195	78	54	1,170
	受検	199	133	34	40	28	26	365	191	75	54	1,145
	合格	156	105	25	30	13	15	318	151	67	45	925
神奈川県	申込	68	65	43	22	4	1	151	119	67	23	563
	受検	67	64	42	22	4	1	148	114	66	23	551
	合格	55	57	24	20	3	1	129	97	54	19	459
山梨県	申込	180	87	26	18	10	2	313	252	66	19	973
	受検	180	87	26	18	10	2	313	252	63	17	968
	合格	167	59	13	14	8	2	300	235	49	15	862
新潟県	申込	435	189	0	7	0	2	635	575	101	63	2,007
	受検	423	186	0	7	0	2	621	567	101	62	1,969
	合格	382	166	0	7	0	2	588	484	100	62	1,791

都道府県	分野	被服製作技術検定						食物調理技術検定				合計
	種目	被服	被服	和服	洋服	和服	洋服					
	級	3級	2級	準1級	準1級	1級	1級	3級	2級	準1級	1級	
富山県	申込	228	188	41	69	21	21	483	284	138	30	1,503
	受検	223	182	41	69	21	21	458	266	137	29	1,447
	合格	204	155	39	58	13	21	403	206	116	27	1,242
石川県	申込	89	25	0	0	0	0	174	81	20	20	409
	受検	82	24	0	0	0	0	174	79	20	19	398
	合格	64	16	0	0	0	0	155	54	18	18	325
福井県	申込	262	206	64	104	0	7	286	232	126	66	1,353
	受検	262	203	63	104	0	7	282	227	125	66	1,339
	合格	236	182	54	102	0	7	234	194	102	46	1,157
長野県	申込	88	68	46	48	29	32	156	110	101	97	775
	受検	87	68	44	46	29	31	153	108	100	94	760
	合格	84	56	32	38	12	17	144	99	97	87	666
静岡県	申込	232	168	45	54	24	23	582	553	272	151	2,104
	受検	230	167	45	53	23	21	577	549	268	146	2,079
	合格	224	134	30	34	11	14	556	477	233	132	1,845
愛知県	申込	1,166	976	137	354	48	118	1,803	1,394	641	290	6,927
	受検	1,141	956	137	351	48	118	1,753	1,357	634	286	6,781
	合格	1,089	825	119	315	44	105	1,628	1,114	547	230	6,016
岐阜県	申込	555	587	63	186	13	19	924	527	331	137	3,342
	受検	540	570	63	183	13	19	904	503	323	135	3,253
	合格	488	459	51	146	8	14	746	375	267	130	2,684
三重県	申込	326	189	52	70	28	50	446	374	273	162	1,970
	受検	322	186	51	69	28	50	444	369	272	161	1,952
	合格	307	148	44	60	25	45	405	319	253	157	1,763
滋賀県	申込	54	41	0	0	0	0	144	116	48	12	415
	受検	54	41	0	0	0	0	143	115	47	11	411
	合格	54	41	0	0	0	0	114	105	46	11	371
京都府	申込	32	7	3	3	2	0	211	135	88	22	503
	受検	32	7	3	2	2	0	193	122	84	22	467
	合格	32	6	3	1	2	0	127	61	32	8	272
大阪府	申込	50	0	0	0	0	0	110	109	21	0	290
	受検	46	0	0	0	0	0	109	105	21	0	281
	合格	38	0	0	0	0	0	107	98	17	0	260
兵庫県	申込	395	227	134	118	39	38	974	629	274	199	3,027
	受検	389	220	130	117	39	37	962	617	262	190	2,963
	合格	327	181	114	109	34	31	805	514	235	165	2,515
奈良県	申込	53	49	15	1	9	0	19	16	18	9	189
	受検	52	48	15	1	7	0	18	16	18	9	184
	合格	48	41	11	1	2	0	17	16	18	9	163
和歌山県	申込	55	11	10	0	0	0	197	109	33	3	418
	受検	54	11	10	0	0	0	193	108	31	3	410
	合格	50	11	10	0	0	0	173	96	29	3	372
鳥取県	申込	160	125	55	71	30	26	288	187	124	53	1,119
	受検	157	123	55	70	30	26	280	185	122	52	1,100
	合格	130	94	45	55	19	24	232	146	90	42	877
島根県	申込	99	37	0	12	0	0	525	194	56	26	949
	受検	93	37	0	12	0	0	519	185	52	25	923
	合格	84	29	0	12	0	0	369	145	35	17	691

都道府県	分野	被服製作技術検定						食物調理技術検定				合計
	種目	被服	被服	和服	洋服	和服	洋服	3級	2級	準1級	1級	
	級	3級	2級	準1級	準1級	1級	1級					
岡山県	申込	550	460	166	238	95	118	981	624	434	242	3,908
	受検	537	456	162	234	93	115	959	599	425	238	3,818
	合格	485	389	143	203	84	100	860	506	351	219	3,340
広島県	申込	336	182	192	152	129	117	566	301	265	179	2,419
	受検	322	173	192	151	127	115	555	287	263	176	2,361
	合格	262	140	122	122	64	75	481	233	221	105	1,825
山口県	申込	291	144	109	82	52	45	567	306	293	141	2,030
	受検	280	138	105	82	52	44	563	299	283	135	1,981
	合格	237	122	71	69	30	31	523	255	227	101	1,666
徳島県	申込	150	40	1	23	0	17	316	191	86	74	898
	受検	147	40	1	22	0	17	311	189	86	74	887
	合格	145	29	1	17	0	16	297	155	82	64	806
香川県	申込	114	120	29	40	13	42	323	332	182	71	1,266
	受検	113	120	29	40	12	38	314	322	162	65	1,215
	合格	111	101	24	39	8	29	278	246	130	59	1,025
愛媛県	申込	204	151	97	66	40	17	608	354	175	118	1,830
	受検	197	144	97	66	39	17	592	340	167	116	1,775
	合格	170	125	62	50	32	17	526	250	140	91	1,463
高知県	申込	149	58	11	1	0	0	363	165	93	11	851
	受検	147	57	11	1	0	0	352	164	92	8	832
	合格	125	52	11	1	0	0	273	134	77	6	679
福岡県	申込	733	665	192	304	93	160	1,483	1,242	636	322	5,830
	受検	726	655	190	301	92	160	1,442	1,200	620	314	5,700
	合格	656	543	139	241	76	137	1,189	906	537	269	4,693
佐賀県	申込	169	92	69	71	1	48	483	342	220	103	1,598
	受検	168	89	68	69	1	48	475	333	211	100	1,562
	合格	162	82	53	65	1	40	449	302	190	95	1,439
長崎県	申込	217	228	139	171	113	112	243	262	211	154	1,850
	受検	215	226	136	170	112	112	242	258	203	152	1,826
	合格	210	175	107	132	91	95	237	214	169	140	1,570
熊本県	申込	432	333	123	110	44	21	2,172	523	286	96	4,140
	受検	415	327	121	107	43	21	2,122	506	275	92	4,029
	合格	391	259	79	91	38	19	1,798	376	220	55	3,326
大分県	申込	67	75	34	76	4	6	361	277	188	108	1,196
	受検	65	73	33	76	4	6	350	262	176	105	1,150
	合格	58	71	31	71	4	6	308	239	147	98	1,033
宮崎県	申込	897	319	96	121	48	65	742	361	150	68	2,867
	受検	875	317	94	121	46	63	717	358	148	66	2,805
	合格	661	265	77	101	36	52	627	259	129	61	2,268
鹿児島県	申込	565	474	310	339	93	124	799	728	351	184	3,967
	受検	546	448	299	330	91	120	780	704	329	176	3,823
	合格	511	363	236	275	74	105	642	468	274	165	3,113
沖縄県	申込	281	125	42	34	11	12	768	394	137	54	1,858
	受検	274	122	42	33	11	12	757	391	132	53	1,827
	合格	254	113	28	25	8	9	741	316	109	29	1,632
合計	申込	14,360	9,057	3,236	3,950	1,400	1,781	29,047	17,637	8,609	4,644	93,721
	受検	14,030	8,865	3,170	3,902	1,378	1,758	28,412	17,191	8,358	4,529	91,593
	合格	12,695	7,505	2,494	3,312	1,053	1,480	25,176	14,013	7,181	3,914	78,823
受検率(受/申) %		97.7	97.8	97.9	98.7	98.4	98.7	97.8	97.4	97	97.5	97.7
合格率(合/受) %		90.4	84.6	78.6	84.8	76.4	84.1	88.6	81.5	85.9	86.4	86

3 令和6年度 保育技術検定  
都道府県別申込者数・受検者数・合格者数一覧

単位：人

都道府県		音楽・リズム表現技術				造形表現技術				言語表現技術				家庭看護技術				合計	級合格				
		4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級		4級	3級	2級	1級	合計
北海道	申込	92	51	20	14	251	133	25	15	129	77	20	13	108	80	44	22	1,094					
	受検	86	52	19	14	234	126	23	14	121	73	19	13	107	75	40	22	1,038					
	合格	80	42	15	9	197	115	17	8	112	68	18	10	98	69	32	18	908	55	36	14	6	111
青森県	申込	104	74	46	41	154	128	80	26	112	78	45	40	120	87	51	39	1,225					
	受検	103	73	45	40	152	122	80	26	111	78	44	40	119	87	49	39	1,208					
	合格	101	68	39	23	141	112	54	17	111	78	40	34	119	86	39	26	1,088	90	67	50	8	215
岩手県	申込	236	38	19	14	795	316	54	19	468	412	61	27	186	154	21	16	2,836					
	受検	232	37	19	14	787	307	53	19	463	410	60	25	185	152	21	15	2,799					
	合格	232	37	19	6	746	303	45	19	462	410	54	24	185	150	21	15	2,728	128	23	8	8	167
宮城県	申込	221	103	31	10	404	219	67	24	297	178	58	24	266	177	60	26	2,165					
	受検	215	99	30	9	391	211	67	22	290	176	57	21	260	173	54	20	2,095					
	合格	203	83	23	4	369	195	42	12	286	175	42	12	257	171	32	8	1,914	205	83	12	1	301
秋田県	申込	81	41	12	4	154	127	22	2	85	49	38	3	67	45	18	3	751					
	受検	76	39	12	4	150	125	22	2	81	49	38	3	65	44	18	3	731					
	合格	71	39	10	3	144	125	17	2	77	49	35	3	65	44	14	3	701	63	39	7	1	110
山形県	申込	20	19	8	2	159	106	17	5	44	44	0	3	20	19	17	8	491					
	受検	20	16	8	2	156	99	17	5	44	39	0	0	20	16	17	8	467					
	合格	20	14	8	2	133	93	13	4	44	39	0	0	20	16	15	8	429	18	6	8	0	32
福島県	申込	279	200	69	47	501	299	75	52	342	233	73	52	429	290	70	57	3,068					
	受検	275	191	67	45	493	295	74	48	338	232	70	49	423	287	70	54	3,011					
	合格	273	182	57	22	462	293	68	40	338	232	65	42	419	285	62	48	2,888	237	160	54	21	472
茨城県	申込	321	139	35	21	604	319	42	25	361	176	42	23	329	160	48	23	2,668					
	受検	315	132	33	21	594	306	42	25	355	169	41	23	319	148	47	23	2,593					
	合格	301	113	25	8	552	296	37	22	344	166	36	17	303	138	33	18	2,409	289	102	23	6	420
栃木県	申込	470	292	125	69	870	430	139	95	531	387	117	86	521	380	125	96	4,733					
	受検	453	281	124	67	821	419	137	92	507	373	115	83	489	367	123	93	4,544					
	合格	432	257	118	42	719	400	135	81	490	363	113	71	469	350	121	78	4,239	395	250	105	42	792
群馬県	申込	342	207	83	29	372	250	106	26	343	246	88	26	295	218	96	28	2,755					
	受検	335	198	80	26	363	240	101	23	338	241	87	26	291	212	96	27	2,684					
	合格	326	166	41	13	319	218	45	18	334	234	65	16	288	204	60	18	2,365	265	154	35	8	462
埼玉県	申込	564	191	50	44	763	215	53	31	589	198	64	33	608	190	54	37	3,684					
	受検	551	182	49	40	741	209	52	31	578	192	62	31	590	186	53	35	3,582					
	合格	534	167	45	16	680	194	35	26	565	179	56	24	570	170	40	19	3,320	505	151	34	13	703
千葉県	申込	171	165	36	22	233	173	45	19	208	150	37	24	175	155	37	19	1,669					
	受検	166	144	33	19	214	157	45	16	190	140	37	22	163	149	37	17	1,549					
	合格	150	120	23	9	183	147	34	15	168	129	34	17	156	133	31	15	1,364	138	116	26	9	289
東京都	申込	254	130	24	6	322	198	50	6	277	162	26	6	258	143	27	6	1,895					
	受検	247	121	23	6	307	182	49	6	267	149	25	6	250	130	26	6	1,800					
	合格	234	99	20	5	268	163	46	5	253	140	20	5	220	116	19	5	1,618	197	90	17	5	309
神奈川県	申込	54	67	29	6	57	65	30	6	54	62	26	6	54	61	28	6	611					
	受検	53	62	25	6	55	59	27	6	50	56	24	6	50	55	25	6	565					
	合格	50	48	23	3	51	53	21	6	49	55	22	6	48	52	19	5	511	50	41	20	2	113
山梨県	申込	130	61	6	0	139	75	6	0	125	61	6	0	130	61	6	0	806					
	受検	128	61	6	0	136	75	6	0	121	60	6	0	129	61	6	0	795					
	合格	128	60	5	0	133	74	6	0	121	50	6	0	129	61	5	0	778	117	58	4	0	179
新潟県	申込	120	17	1	0	763	340	55	47	331	213	33	0	240	133	23	27	2,343					
	受検	119	17	1	0	751	335	55	47	328	211	33	0	237	130	23	27	2,314					
	合格	119	17	1	0	691	327	55	46	328	211	31	0	235	130	23	25	2,239	112	12	0	0	124
富山県	申込	108	82	32	7	265	188	80	25	187	123	77	7	93	73	42	19	1,408					
	受検	108	75	32	7	250	173	76	16	174	119	70	6	93	72	41	13	1,325					
	合格	108	71	28	5	239	172	62	10	172	118	59	4	93	70	35	12	1,258	57	29	15	2	103
石川県	申込	0	0	0	0	204	162	0	0	62	38	1	0	31	31	0	0	529					
	受検	0	0	0	0	196	151	0	0	60	30	0	0	30	30	0	0	497					
	合格	0	0	0	0	184	143	0	0	60	30	0	0	30	30	0	0	477	0	0	0	0	0

都道府県		音楽・リズム表現技術				造形表現技術				言語表現技術				家庭看護技術				合計	級合格				
		4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級		4級	3級	2級	1級	合計
福井県	申込	57	16	17	12	106	22	17	13	57	16	17	12	58	17	17	12	466					
	受検	57	16	17	12	100	22	17	13	57	16	17	12	57	17	17	12	459					
	合格	57	16	17	7	98	22	17	12	57	16	17	12	57	17	17	12	451	56	16	17	7	96
長野県	申込	14	14	9	17	67	42	7	10	44	28	4	19	5	5	4	15	304					
	受検	14	13	9	15	60	41	7	10	41	28	4	19	5	5	4	15	290					
	合格	14	11	8	6	56	41	5	9	41	28	3	14	5	5	3	13	262	4	7	6	5	22
静岡県	申込	296	194	28	12	436	257	49	4	290	185	25	23	303	199	31	20	2,352					
	受検	291	188	28	12	429	253	49	4	285	181	25	20	296	195	31	19	2,306					
	合格	278	171	21	4	386	241	27	0	280	180	22	3	278	179	26	11	2,107	261	162	23	0	446
愛知県	申込	555	317	162	76	887	542	258	133	752	487	170	82	619	376	197	89	5,702					
	受検	526	299	158	70	849	507	254	108	721	454	164	78	583	346	192	83	5,392					
	合格	494	262	130	40	802	473	147	97	712	444	147	57	540	329	161	60	4,895	444	259	102	23	828
岐阜県	申込	410	288	102	45	638	358	150	46	420	285	117	47	412	318	134	46	3,816					
	受検	401	271	94	45	623	337	144	45	411	270	105	47	400	302	131	46	3,672					
	合格	396	229	89	33	596	321	118	40	407	268	98	42	397	284	104	37	3,459	364	224	85	28	701
三重県	申込	89	68	14	2	258	260	22	2	108	95	39	0	108	88	38	1	1,192					
	受検	86	53	14	2	250	246	22	2	101	92	38	0	103	83	38	1	1,131					
	合格	73	40	12	1	229	221	22	2	111	69	35	0	101	77	33	1	1,027	55	25	6	0	86
滋賀県	申込	79	53	2	0	646	55	2	0	84	57	2	0	78	52	2	0	1,112					
	受検	75	50	2	0	642	50	2	0	81	51	2	0	73	49	2	0	1,079					
	合格	75	39	2	0	639	47	2	0	81	51	2	0	63	36	2	0	1,039	64	31	2	0	97
京都府	申込	110	63	34	22	158	98	37	18	113	62	32	17	128	71	33	17	1,013					
	受検	106	60	34	22	151	90	37	18	109	57	32	17	116	63	33	17	962					
	合格	97	58	30	8	111	75	28	15	98	46	30	16	94	54	30	16	806	78	51	28	8	165
大阪府	申込	247	168	82	81	286	204	95	80	239	144	97	65	202	141	70	58	2,259					
	受検	227	157	76	72	260	196	88	75	221	137	94	51	182	138	65	49	2,088					
	合格	215	139	59	52	223	170	66	65	210	130	73	44	169	129	57	42	1,843	162	117	56	46	381
兵庫県	申込	398	211	80	50	801	427	57	21	597	293	50	24	396	213	46	29	3,693					
	受検	391	205	75	48	787	407	57	20	584	286	49	23	379	210	45	28	3,594					
	合格	369	193	68	35	747	385	51	19	576	278	48	21	371	204	40	27	3,432	248	125	30	18	421
奈良県	申込	118	94	45	11	122	93	80	10	135	95	78	10	135	96	83	14	1,219					
	受検	111	86	44	11	115	91	75	10	131	91	77	10	131	92	78	14	1,167					
	合格	110	84	37	8	115	87	63	8	131	87	70	8	131	92	65	11	1,107	128	79	37	7	251
和歌山県	申込	128	31	13	3	163	89	19	7	133	69	17	12	146	44	13	8	895					
	受検	123	31	11	3	154	84	19	7	131	69	17	6	142	43	13	8	861					
	合格	121	30	11	3	150	82	19	7	130	69	17	6	140	43	13	8	849	112	47	9	3	171
鳥取県	申込	78	77	51	28	94	80	46	24	82	78	49	25	83	81	52	27	955					
	受検	77	76	49	26	87	78	44	23	80	78	43	25	81	80	47	25	919					
	合格	77	66	43	17	81	69	39	19	80	76	41	18	80	76	38	18	838	69	59	23	11	162
島根県	申込	137	87	38	9	303	208	54	6	191	138	71	6	189	112	61	24	1,634					
	受検	136	83	35	6	293	194	53	6	179	132	66	6	184	108	61	23	1,565					
	合格	135	71	28	4	270	171	41	6	178	131	61	6	184	107	55	18	1,466	100	64	14	1	179
岡山県	申込	577	332	165	61	580	331	166	52	570	322	158	53	580	337	163	52	4,499					
	受検	561	308	151	48	562	320	159	46	551	312	151	46	561	320	154	44	4,294					
	合格	545	261	131	27	539	312	124	39	546	304	133	38	545	305	131	33	4,013	523	250	110	22	905
広島県	申込	169	135	69	39	303	153	85	44	240	165	68	38	207	137	67	39	1,958					
	受検	165	127	68	37	301	149	83	40	239	158	66	37	203	130	66	38	1,907					
	合格	163	123	65	20	288	145	74	37	239	156	64	32	199	109	61	35	1,810	163	119	61	20	363
山口県	申込	63	46	19	15	122	113	27	16	120	100	16	18	59	45	24	13	816					
	受検	62	45	19	14	119	111	27	16	117	99	16	16	58	44	24	13	800					
	合格	60	45	17	7	116	100	25	14	117	99	15	11	58	41	19	13	757	53	34	15	11	113
徳島県	申込	43	39	0	0	594	188	0	0	78	54	0	2	44	41	1	0	1,084					
	受検	41	38	0	0	587	182	0	0	76	53	0	2	42	39	1	0	1,061					
	合格	41	31	0	0	503	178	0	0	76	53	0	1	42	38	1	0	964	42	31	0	0	73

都道府県		音楽・リズム表現技術				造形表現技術				言語表現技術				家庭看護技術				合計	級合格				
		4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級		4級	3級	2級	1級	合計
香川県	申込	118	66	30	7	133	63	25	10	122	61	27	10	121	63	29	11	896					
	受検	113	62	30	7	126	61	25	10	110	60	26	10	114	59	29	10	852					
	合格	102	44	22	4	113	56	23	9	103	57	25	10	106	54	20	10	758	91	41	21	4	157
愛媛県	申込	233	91	9	4	300	206	24	12	279	198	32	11	232	155	23	12	1,821					
	受検	231	90	9	4	299	203	24	12	277	198	32	11	231	154	23	12	1,810					
	合格	227	84	9	4	283	192	22	11	276	196	30	11	221	143	21	11	1,741	208	81	5	3	297
高知県	申込	7	11	2	0	239	110	16	2	201	59	5	1	118	39	3	0	813					
	受検	7	11	2	0	230	106	15	2	199	57	4	1	117	39	3	0	793					
	合格	7	7	2	0	205	102	15	2	198	56	4	1	115	39	2	0	755	7	8	2	0	17
福岡県	申込	622	451	267	154	747	622	293	146	655	486	248	114	673	516	277	117	6,388					
	受検	593	412	259	149	717	580	288	143	630	444	244	107	640	475	268	110	6,059					
	合格	563	386	192	72	674	534	198	102	611	438	206	86	613	456	185	91	5,407	496	377	155	66	1,094
佐賀県	申込	312	160	73	35	420	183	79	60	299	125	78	71	292	179	90	69	2,525					
	受検	310	152	73	35	416	177	78	59	292	121	77	68	287	174	89	67	2,475					
	合格	305	133	61	21	397	156	64	37	289	120	74	42	287	154	74	51	2,265	239	75	56	7	377
長崎県	申込	75	41	28	19	149	81	30	13	112	76	30	11	118	86	32	23	924					
	受検	70	41	28	19	144	80	30	13	112	76	29	11	118	86	32	23	912					
	合格	70	39	26	14	140	71	30	11	109	76	28	9	113	86	29	18	869	73	38	4	4	119
熊本県	申込	64	38	2	0	107	96	1	0	74	61	2	0	107	88	1	0	641					
	受検	64	38	2	0	104	91	1	0	71	56	2	0	100	81	1	0	611					
	合格	64	37	2	0	103	88	1	0	71	56	2	0	97	81	1	0	603	86	36	1	0	123
大分県	申込	234	158	32	40	414	244	40	32	244	161	29	30	238	158	29	30	2,113					
	受検	228	150	29	34	394	233	40	31	238	154	27	29	232	151	26	28	2,024					
	合格	215	139	27	13	374	227	37	25	234	153	25	22	222	147	24	22	1,906	201	134	27	13	375
宮崎県	申込	155	84	26	27	190	101	25	26	150	100	25	30	185	84	30	24	1,262					
	受検	153	82	26	27	188	97	25	26	149	95	25	30	180	82	30	24	1,239					
	合格	146	78	22	16	182	97	20	24	147	95	20	24	175	81	19	18	1,164	176	79	21	16	292
鹿児島県	申込	263	224	116	63	338	344	172	84	276	235	136	59	276	230	133	59	3,008					
	受検	257	211	114	60	335	343	169	83	272	235	134	59	272	226	131	59	2,960					
	合格	253	190	105	43	319	335	156	69	270	232	128	54	268	221	122	54	2,819	256	188	104	43	591
沖縄県	申込	350	63	9	3	630	242	92	52	399	205	77	37	355	123	65	43	2,745					
	受検	343	54	9	2	605	230	88	40	387	200	69	33	340	117	57	40	2,614					
	合格	322	51	9	1	576	225	45	23	373	199	56	24	326	117	49	34	2,430	290	42	4	1	337
合計	申込	9,568	5,497	2,150	1,171	17,241	9,555	2,914	1,346	11,609	7,327	2,511	1,200	10,397	6,551	2,515	1,284	92,836					
	受検	9,301	5,189	2,071	1,100	16,718	9,150	2,846	1,260	11,268	7,057	2,423	1,128	10,047	6,282	2,437	1,216	89,493					
	合格	8,956	4,640	1,745	630	15,526	8,646	2,211	1,033	11,065	6,889	2,170	897	9,701	5,979	2,003	985	83,076	7,970	4,216	1,456	499	14,141
受検率(受/申) %		97.2	94.4	96.3	93.9	97	95.8	97.7	93.6	97.1	96.3	96.5	94	96.6	95.9	96.9	94.7	96.4					
合格率(合/受) %		96.3	89.4	84.3	57.3	92.9	94.5	77.7	82	98.2	97.6	89.6	79.5	96.6	95.2	82.2	81	92.8					

4 令和7年度 保育技術検定  
都道府県別申込者数・受検者数・合格者数一覧

単位：人

都道府県		音楽・リズム表現技術				造形表現技術				言語表現技術				家庭看護技術				合計	級合格				
		4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級		4級	3級	2級	1級	合計
北海道	申込	126	31	27	21	289	92	43	26	186	59	37	20	148	57	43	33	1,238					
	受検	115	29	26	19	276	86	43	24	174	55	34	19	135	55	42	29	1,161					
	合格	111	25	23	10	244	79	31	9	165	52	27	7	132	52	35	22	1,024	87	22	19	3	131
青森県	申込	78	59	38	39	143	113	43	37	78	65	39	39	98	71	41	39	1,020					
	受検	75	58	37	39	138	111	42	37	76	63	38	39	95	70	40	39	997					
	合格	74	49	35	20	128	96	31	24	76	61	36	28	94	66	39	27	884	68	34	31	10	143
岩手県	申込	232	45	14	17	721	217	47	23	427	257	64	21	193	135	23	18	2,454					
	受検	229	45	14	17	704	213	47	23	423	257	64	21	189	135	23	18	2,422					
	合格	229	43	12	17	638	208	46	23	418	257	64	21	189	133	23	18	2,339	67	14	0	9	90
宮城県	申込	263	113	31	17	439	200	63	40	328	188	65	28	314	204	60	35	2,388					
	受検	252	101	31	17	425	192	63	40	317	184	62	28	303	194	59	35	2,303					
	合格	246	79	21	8	395	168	34	17	312	180	54	22	300	189	45	25	2,095	230	68	20	7	325
秋田県	申込	52	39	11	4	128	92	11	4	53	38	34	3	58	35	19	7	588					
	受検	52	38	11	4	126	89	11	4	53	38	33	3	57	35	19	7	580					
	合格	52	37	11	2	124	88	11	3	53	38	31	2	56	35	17	7	567	52	35	9	0	96
山形県	申込	20	19	9	1	163	97	4	9	68	56	18	9	20	17	9	0	519					
	受検	20	17	9	1	161	92	3	9	67	53	18	9	20	15	9	0	503					
	合格	20	14	6	1	157	84	3	5	67	53	17	5	20	13	8	0	473	17	3	0	0	20
福島県	申込	304	199	70	44	470	280	75	52	356	239	71	52	436	259	88	67	3,062					
	受検	298	192	69	43	460	278	74	51	350	238	70	50	429	257	88	66	3,013					
	合格	294	143	55	35	444	272	62	42	348	236	65	42	429	255	79	58	2,859	263	127	52	30	472
茨城県	申込	358	135	37	20	496	307	41	28	429	175	40	26	360	160	41	26	2,679					
	受検	354	122	37	19	482	289	41	25	420	170	38	25	356	156	39	26	2,599					
	合格	332	94	23	4	436	269	35	17	402	165	35	18	325	147	31	19	2,352	290	80	20	1	391
栃木県	申込	567	285	116	63	853	392	125	72	593	342	105	71	587	390	112	72	4,745					
	受検	541	269	115	62	799	374	122	70	566	328	103	69	558	375	109	70	4,530					
	合格	527	236	108	50	744	354	117	68	552	322	99	65	541	357	99	69	4,308	520	227	86	50	883
群馬県	申込	305	183	97	29	398	258	91	15	382	232	89	19	284	220	100	22	2,724					
	受検	296	162	94	28	381	242	87	15	372	223	85	18	273	213	96	21	2,606					
	合格	290	124	48	6	330	230	53	10	370	214	63	15	267	204	65	15	2,304	236	121	36	4	397
埼玉県	申込	547	153	42	43	718	188	49	46	595	178	40	48	590	197	44	42	3,520					
	受検	538	147	42	43	689	187	48	44	585	177	37	48	581	197	44	42	3,449					
	合格	511	117	38	32	648	167	38	33	572	154	35	36	553	186	33	37	3,190	492	135	36	29	692
千葉県	申込	214	139	41	16	253	165	30	18	233	136	34	19	215	133	37	16	1,699					
	受検	203	135	39	16	238	161	27	17	215	134	33	17	205	132	35	15	1,622					
	合格	200	110	26	12	216	135	23	12	198	124	30	13	197	123	28	13	1,460	186	108	21	11	326
東京都	申込	225	118	23	17	426	268	23	14	334	198	21	14	306	143	22	14	2,166					
	受検	214	117	22	16	405	253	23	13	326	188	21	13	291	135	22	13	2,072					
	合格	208	109	21	10	346	193	22	11	315	169	21	11	277	115	22	11	1,861	182	91	21	10	304
神奈川県	申込	58	57	24	4	67	57	29	3	79	71	26	4	65	55	27	4	630					
	受検	53	55	21	4	61	52	28	3	74	69	25	4	61	53	25	4	592					
	合格	53	47	17	4	57	44	23	3	73	69	24	4	59	49	23	4	553	33	30	15	3	81
山梨県	申込	162	25	6	0	175	25	6	0	176	25	6	0	162	25	6	0	799					
	受検	162	25	6	0	174	25	6	0	176	24	6	0	162	24	6	0	796					
	合格	162	24	5	0	172	25	6	0	176	24	6	0	162	24	6	0	792	160	24	5	0	189
新潟県	申込	98	10	0	0	802	363	60	46	313	209	11	0	182	134	25	22	2,275					
	受検	98	10	0	0	781	354	60	46	310	205	11	0	180	132	25	22	2,234					
	合格	98	10	0	0	632	337	59	46	310	201	11	0	180	130	25	22	2,061	92	9	0	0	101
富山県	申込	180	67	26	17	273	150	76	23	148	112	88	6	85	81	42	5	1,379					
	受検	180	62	26	17	265	144	75	23	148	105	88	6	85	80	41	5	1,350					
	合格	180	54	25	7	256	141	53	17	146	102	73	5	85	80	40	5	1,269	56	31	19	2	108
石川県	申込	36	0	0	0	191	108	0	0	97	56	0	0	62	56	0	0	606					
	受検	34	0	0	0	178	96	0	0	92	55	0	0	60	55	0	0	570					
	合格	34	0	0	0	161	89	0	0	91	55	0	0	60	55	0	0	545	34	0	0	0	34

都道府県		音楽・リズム表現技術				造形表現技術				言語表現技術				家庭看護技術				合計	級合格				
		4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級		4級	3級	2級	1級	合計
福井県	申込	74	13	13	16	80	21	13	16	74	13	13	16	76	13	13	16	480					
	受検	74	13	13	16	78	21	13	16	74	13	13	16	76	13	13	16	478					
	合格	74	13	12	10	73	21	12	16	74	13	12	13	76	13	12	16	460	48	13	12	9	82
長野県	申込	28	15	4	1	41	19	21	1	39	19	24	1	24	6	7	2	252					
	受検	28	15	4	1	40	19	20	1	39	19	23	1	24	6	7	2	249					
	合格	28	15	4	1	35	18	20	1	39	18	19	1	24	6	7	2	238	15	6	4	2	27
静岡県	申込	419	199	22	5	465	255	22	2	404	220	21	3	402	186	19	11	2,655					
	受検	405	195	22	5	453	251	21	2	398	216	21	3	392	178	19	11	2,592					
	合格	398	143	17	2	415	209	11	1	392	207	20	2	367	165	15	11	2,375	348	111	12	1	472
愛知県	申込	595	339	143	73	###	646	266	136	902	529	143	88	807	367	180	94	6,453					
	受検	564	323	135	73	###	618	261	134	864	517	138	87	772	361	177	94	6,211					
	合格	521	266	97	49	959	583	206	125	794	498	125	74	699	338	138	84	5,556	463	247	94	44	848
岐阜県	申込	398	291	97	35	###	328	118	35	468	260	110	35	439	285	120	35	4,072					
	受検	387	279	89	34	985	317	111	34	461	253	105	34	424	273	114	34	3,934					
	合格	381	234	85	21	955	290	95	28	456	249	99	28	418	258	94	24	3,715	332	217	78	21	648
三重県	申込	81	51	7	1	261	165	16	0	98	93	23	0	87	75	30	0	988					
	受検	73	47	7	1	244	156	15	0	90	85	22	0	75	67	30	0	912					
	合格	68	31	6	0	220	136	12	0	84	79	18	0	68	55	28	0	805	41	21	3	0	65
滋賀県	申込	82	52	0	0	449	51	0	0	88	53	0	0	91	53	0	0	919					
	受検	81	52	0	0	445	51	0	0	86	53	0	0	90	53	0	0	911					
	合格	77	42	0	0	409	48	0	0	86	48	0	0	89	49	0	0	848	76	39	0	0	115
京都府	申込	115	49	31	15	153	83	36	15	114	59	32	14	123	54	36	16	945					
	受検	109	44	31	15	141	76	36	15	108	55	32	14	115	50	36	16	893					
	合格	103	33	29	12	109	49	27	14	103	51	27	13	106	39	27	15	757	72	36	25	12	145
大阪府	申込	240	210	87	52	308	268	106	57	220	230	83	59	260	154	79	47	2,460					
	受検	212	189	83	52	278	218	99	56	190	207	79	59	233	129	74	47	2,205					
	合格	202	119	61	42	231	168	69	50	179	195	61	50	204	110	60	47	1,848	150	85	48	44	327
兵庫県	申込	475	161	91	60	792	378	97	30	639	309	82	30	458	208	83	46	3,939					
	受検	467	154	84	59	785	364	91	30	626	301	79	30	452	205	78	46	3,851					
	合格	457	139	67	38	738	330	57	15	623	291	59	20	442	197	65	31	3,569	358	86	37	9	490
奈良県	申込	131	104	79	14	136	105	100	15	131	106	87	12	136	102	99	14	1,371					
	受検	123	100	75	14	131	101	94	15	128	102	81	12	131	96	91	14	1,308					
	合格	123	96	54	6	120	100	73	7	128	97	75	7	127	93	73	7	1,186	118	97	51	6	272
和歌山県	申込	96	36	6	0	124	88	17	0	98	66	17	6	111	43	13	0	721					
	受検	95	33	6	0	121	86	17	0	95	64	17	6	110	43	13	0	706					
	合格	94	32	4	0	117	85	16	0	95	64	17	5	108	43	13	0	693	89	30	4	0	123
鳥取県	申込	53	58	50	34	75	73	59	36	73	66	55	39	74	72	61	39	917					
	受検	52	55	48	33	74	72	58	34	72	65	55	38	73	71	59	37	896					
	合格	51	39	37	20	71	63	44	25	71	64	52	23	71	68	49	30	778	50	39	36	13	138
島根県	申込	174	125	29	13	351	144	68	20	219	132	72	12	235	119	66	37	1,816					
	受検	171	111	28	11	331	140	65	18	214	129	72	12	227	111	64	37	1,741					
	合格	169	86	15	6	307	116	52	10	213	124	68	11	224	110	56	25	1,592	157	63	9	4	233
岡山県	申込	550	329	148	80	596	330	153	64	565	324	139	66	554	334	146	64	4,442					
	受検	522	309	138	70	563	317	144	61	538	315	134	61	521	319	141	60	4,213					
	合格	509	235	109	21	530	297	123	38	530	299	127	40	505	303	126	46	3,838	486	225	111	14	836
広島県	申込	190	138	75	57	325	180	92	53	219	186	78	50	212	161	84	50	2,150					
	受検	190	135	72	56	323	177	91	50	219	184	75	50	212	157	82	49	2,122					
	合格	188	119	65	43	301	171	77	43	219	172	71	39	205	149	71	43	1,976	177	117	58	35	387
山口県	申込	70	44	21	9	175	90	19	5	102	67	22	6	86	47	24	5	792					
	受検	68	44	21	9	174	88	19	5	98	67	22	6	83	47	24	5	780					
	合格	68	35	20	8	164	69	16	5	97	67	22	5	79	44	18	5	722	56	29	15	5	105
徳島県	申込	47	30	0	0	551	177	8	0	62	41	0	0	47	30	0	1	994					
	受検	45	29	0	0	535	169	8	0	60	40	0	0	45	29	0	1	961					
	合格	44	27	0	0	445	165	3	0	60	39	0	0	41	25	0	0	849	41	25	0	0	66

都道府県		音楽・リズム表現技術				造形表現技術				言語表現技術				家庭看護技術				合計	級合格				
		4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級	4級	3級	2級	1級		4級	3級	2級	1級	合計
香川県	申込	138	88	41	9	135	81	37	12	131	80	37	12	148	81	41	15	1,086					
	受検	129	75	36	9	131	76	36	12	127	70	34	12	140	74	38	15	1,014					
	合格	126	55	24	3	125	70	30	10	123	69	31	12	135	69	36	12	930	106	44	21	1	172
愛媛県	申込	247	80	30	16	296	171	24	18	252	142	34	16	244	131	29	13	1,743					
	受検	243	78	30	13	291	169	24	17	249	141	34	16	240	131	29	13	1,718					
	合格	239	68	27	9	265	149	23	14	247	137	34	16	235	126	29	13	1,631	215	56	15	7	293
高知県	申込	11	6	5	1	227	95	11	2	152	33	6	2	121	31	5	2	710					
	受検	11	6	5	1	221	92	11	2	152	33	6	2	120	31	5	2	700					
	合格	11	6	2	1	198	81	8	2	151	31	5	2	119	29	5	2	653	9	3	2	1	15
福岡県	申込	587	435	223	146	735	509	295	135	648	463	228	119	632	455	252	121	5,983					
	受検	562	424	216	136	713	491	291	126	629	445	223	117	606	439	243	114	5,775					
	合格	546	358	177	86	663	436	208	100	617	435	184	86	587	414	192	97	5,186	510	333	156	58	1,057
佐賀県	申込	229	178	66	35	376	201	86	56	273	141	83	55	545	183	102	51	2,660					
	受検	226	172	65	34	366	199	86	56	266	139	83	53	536	181	101	48	2,611					
	合格	226	165	38	22	340	194	69	34	266	136	77	35	535	174	89	47	2,447	178	77	35	14	304
長崎県	申込	67	41	25	40	148	82	17	30	109	71	17	31	111	87	44	39	959					
	受検	66	41	25	39	144	81	17	30	108	71	17	31	110	87	44	39	950					
	合格	66	29	24	24	135	77	16	28	108	69	16	27	110	85	43	36	893	66	34	25	14	139
熊本県	申込	71	50	0	1	131	85	4	0	69	57	11	0	92	77	0	0	648					
	受検	69	49	0	1	128	82	4	0	67	52	11	0	91	76	0	0	630					
	合格	69	46	0	1	124	79	2	0	67	52	8	0	91	76	0	0	615	60	44	0	0	104
大分県	申込	218	133	47	23	406	273	79	22	240	166	47	19	230	167	49	19	2,138					
	受検	208	123	45	21	392	263	77	21	234	163	46	19	220	164	48	19	2,063					
	合格	202	119	39	11	373	243	76	20	225	150	44	17	211	161	45	17	1,953	188	100	38	11	337
宮崎県	申込	502	125	21	23	491	73	23	19	496	77	21	23	486	102	22	22	2,526					
	受検	493	124	21	23	479	72	23	18	478	77	21	22	477	101	22	21	2,472					
	合格	480	114	20	13	348	66	20	16	460	72	21	21	464	94	19	17	2,245	326	90	19	12	447
鹿児島県	申込	263	226	149	72	253	230	206	87	288	250	174	70	328	263	173	69	3,101					
	受検	256	210	147	72	248	220	204	87	278	242	171	70	316	255	171	69	3,016					
	合格	254	189	126	51	239	206	197	76	273	239	164	59	307	243	152	63	2,838	241	197	107	49	594
沖縄県	申込	274	58	5	3	634	280	89	44	371	187	87	30	303	125	82	39	2,611					
	受検	260	54	5	3	622	271	85	43	359	186	86	29	296	121	79	39	2,538					
	合格	250	48	5	1	579	258	41	19	358	185	74	21	286	118	66	33	2,342	209	43	1	1	254
合計	申込	10,250	5,341	2,127	1,186	17,882	8,853	2,898	1,366	12,419	7,076	2,534	1,193	11,627	6,383	2,598	1,289	95,022					
	受検	9,903	5,067	2,050	1,146	17,272	8,495	2,821	1,327	12,051	6,870	2,466	1,169	11,247	6,181	2,524	1,260	91,849					
	合格	9,645	4,216	1,638	719	15,716	7,756	2,250	1,037	11,782	6,626	2,221	921	10,859	5,867	2,146	1,075	84,474	8,250	3,666	1,406	556	13,878
受検率(受/申) %		96.6	94.8	96.3	96.6	96.5	95.9	97.3	97.1	97	97	97.3	97.9	96.7	96.8	97.1	97.7	96.6					
合格率(合/受) %		97.3	83.2	79.9	62.7	90.9	91.3	79.7	78.1	97.7	96.4	90	78.7	96.5	94.9	85	85.3	91.9					

## 5 「三冠王」都道府県別取得者数の推移

都道府県番号	都道府県名	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
1	北海道	21	20	22	24	33	26	22	31	20	16	8	16	14	15
2	青森県	43	56	66	29	38	43	21	21	21	27	19	16	12	7
3	岩手県	21	23	19	9	8	7	3	4	4	2	2		2	3
4	宮城県	13	2	13	9	2	3	3	3	5	1	2	4		
5	秋田県	29	31	14	26	24	26	32	29	28	41	38	35	31	15
6	山形県	25	28	28	29	26	29	18	22	16	15	29	11	24	17
7	福島県	24	11	10	13	13	12	14	11	6	11	5	13	9	12
8	茨城県	66	80	87	70	98	89	72	85	86	57	72	55	37	46
9	栃木県	136	64	61	61	51	48	67	58	46	38	38	13	1	1
10	群馬県				1	4	1	4	5	4	4	3	4	4	5
11	埼玉県	30	33	33	36	35	31	29	29	37	36	29	34	23	31
12	千葉県	41	41	37	27	23	25	26	32	20	24	29	24	30	24
13	東京都	3	3	4	4	3	2	3	3	2	1	1			1
14	神奈川県	4	9	13	7	6	3	9	2	7	3				
15	山梨県	3	5	3	2	7	8	10	13	8	7	4	4	8	2
16	新潟県	4	3	3	7										
17	富山県	6	8	8	13	8	15	11	14	15	18	6	7	9	7
18	石川県					1									
19	福井県				1					1		1			
20	長野県	6	4	11		5	7	2	7			1			
21	静岡県	58	77	59	49	57	54	69	30	36	46	31	22	26	11
22	愛知県	53	52	37	48	37	42	37	37	5	4	9	8	7	3
24	三重県														
27	大阪府			1	1										
28	兵庫県	32	22	24	18	27	26	27	23	18	21	32	19	31	21
30	和歌山県	6	4	7	3	1	2	2	1	1		1	3		
31	鳥取県	19	17	18	24	22	18	18	14	15	14	10	10	8	14
32	島根県	5	5	3		3	3	1		1					
33	岡山県	83	55	60	57	44	59	70	42	53	50	36	39	44	47
34	広島県	69	70	78	85	94	87	102	100	97	97	65	67	70	52
35	山口県	18	10	13	21	18	18	14	16	10	18	8	13	14	14
37	香川県	5	4	7	7	7	4	4	2	2	2	3	1	4	1
38	愛媛県	15	22	26	37	25	27	30	30	26	28	26	19	20	15
40	福岡県	13	17	19	26	29	38	31	37	37	40	40	25	39	32
42	長崎県	154	107	131	142	125	125	102	119	97	107	100	70	89	88
43	熊本県	11	5	7	12	6	10	11	4	9	6	2	4	6	2
44	大分県	3	7	4	7	10	7	1	8	4		8	3	1	
45	宮崎県	30	15	24	26	25	24	35	29	33	28	17	24	20	14
46	鹿児島県	32	24	28	18	38	26	39	28	49	42	48	32	48	34
47	沖縄県	5	5	7	6	13	4	7	8	6	8	4	2	7	1
	学校数	116	113	116	116	112	109	103	105	98	96	92	90	82	77
	合計人数	1086	939	985	955	966	949	946	897	825	812	727	597	638	535

## 6 「三冠王」取得学校名及び取得者数の推移

人数

都道府県	年度		人数									
	学校名		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
北海道	函館大妻		20	15	7	19	16	11	7	16	12	15
	洞爺											
	江別		13	11	15	12	4	5	1		2	
	千歳北陽											
小計		33	26	22	31	20	16	8	16	14	15	
青森県	柴田学園		17	18	15	16	11	17	13	9	7	1
	千葉学園		9	15		5	10	10	6	7	5	6
	三本木農業		12	10	6							
小計		38	43	21	21	21	27	19	16	12	7	
岩手県	盛岡農業											
	盛岡スコーレ		1									
	水沢農業											
	一関修紅											
	千厩											
	宮古水産		6	5	3	2	4					
	久慈東											
	花北青雲		1	2		2		2			2	3
	紫波総合											
	水沢農業											
小計		8	7	3	4	4	2	2	0	2	3	
宮城県	加美農業											
	松山			1	1	1						
	亘理		2	2	1	1	2	1	2	3		
	名取				1	1	2			1		
小計		2	3	3	3	5	1	2	4	0	0	
秋田県	金足農業		13	13	15	14	14	15	16	12	11	7
	大館											
	大曲農業		6	9	14	11	10	18	17	18	17	3
	大館桂桜		4	2	2	2	2	5		4	3	2
増田		1	2	1	2	2	3	5	1		3	
小計		24	26	32	29	28	41	38	35	31	15	
山形県	惺山(山本学園)		26	29	18	22	16	15	29	11	24	17
	東根工業											
小計		26	29	18	22	16	15	29	11	24	17	
福島県	会津農林				2							
	会津農林(耶麻校舎)								2	1		
	耶麻農業		3	3		3	2	4	2			
	磐城農業		10	9	11	8	4	7	3	11	8	7
	二本松実業										5	
	湯本				1							
いわき総合												
小計		13	12	14	11	6	11	5	13	9	12	
茨城県	水戸第三		40	28	32	37	29	11	36	24		
	石岡第二		28	28	7	25	27	4	3	4	4	9
	取手第二		11	10	12	7	9	17	15	11	15	16
	水海道第二		5	5	7	9	9	9	3	3	5	6
	竜ヶ崎第二		14	18	14	7	12	16	15	13	13	15
	潮来											
小計		98	89	72	85	86	57	72	55	37	46	

人数

都道府県	年度		人数									
	学校名		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
栃木県	宇都宮中央女子		28	28	39	35	21	17	28	10		
	佐野女子											
	宇都宮短大附属											
	作新学院		2	4	2							
	小山北桜		5	6	14	4	9	9	5			
	佐野松桜		16	10	12	19	16	12	5	3	1	1
小計		51	48	67	58	46	38	38	13	1	1	
群馬県	常磐		3	1	4	5	2	3	3	3	2	3
	新田暁		1				2	1		1	2	2
小計		4	1	4	5	4	4	3	4	4	5	
埼玉県	鴻巣女子		35	31	29	29	37	35	29	34	23	31
	草加西							1				
小計		35	31	29	29	37	36	29	34	23	31	
千葉県	木更津東		6	11	14	15	6	13	15	12	12	10
	千葉女子		5	7	9	10	6	7	9	8	12	11
	館山総合		12	7	3	7	8	4	5	4	6	3
小計		23	25	26	32	20	24	29	24	30	24	
東京都	忍岡		3	2	3	3	2	1	1			1
	蒲田女子											
小計		3	2	3	3	2	1	1			1	
神奈川県	市立川崎		6	3	9	2	7	3				
	伊勢原											
小計		6	3	9	2	7	3				0	
山梨県	笛吹					1		1	2	1	5	1
	北杜		6	5	7	4	5	2	2	3	3	1
	白根											
	増穂商業											
甲府城西		1	3	3	8	3	4					
小計		7	8	10	13	8	7	4	4	8	2	
新潟県	西川竹園											
	新潟青陵											
小計												
富山県	雄山		6	8	7	8	8	9	5	6	6	3
	桜井		1	3	3	5	7	5	1	1	3	4
	氷見		1	4	1	1		4				
小計		8	15	11	14	15	18	6	7	9	7	
石川県	鵬学園		1									
小計		1										
福井県	三国											
坂井							1		1			
小計							1		1			
長野県	丸子修学館		1	1						1		
	諏訪実業		4	6	2	7						
	市立長野											
小計		5	7	2	7				1			
静岡県	静岡サレジオ		5	2		1						
	静岡女子		13	16	23	5	10	17	10	10	8	4
	沼津中央		30	29	39	20	22	29	21	12	18	7
	御殿場		9	7	7	4	4					
小計		57	54	69	30	36	46	31	22	26	11	
愛知県	成章		26	30	27	27	2	2	3	3	3	
	至学館		7	5	5	5			3	2	2	2
	豊橋中央			1	3	3	3	2	3	3	2	1
	古知野		2	2	2	2						
	佐屋		2	4								
小計		37	42	37	37	5	4	9	8	7	3	

人数

都道府県	学校名	年度									
		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
大阪府	吹田										
	高槻北										
小計											
兵庫県	社	4	7	4	4	2	3	10	3	1	
	西脇	9	9	11	3	5	3	6	4	12	8
	神戸第一	4	2		2		4	2	3	2	
	佐用	3	1	5	3	2	3	4	3	8	4
	小野工業	7	7	7	9	9	8	10	6	8	9
	松陽				2						
小計		27	26	27	23	18	21	32	19	31	21
和歌山県	神島	1		2		1		1	1		
	海南下津		2		1				2		
小計		1	2	2	1	1		1	3	0	
鳥取県	鳥取湖陵	5	4	5	2	5	3	4	3	4	3
	倉吉総合産業	6	2	5	6	3	2		4	2	3
	米子南	11	12	8	6	7	9	6	3	2	8
小計		22	18	18	14	15	14	10	10	8	14
島根県	漕摩	3	3	1		1					
小計		3	3	1		1					
岡山県	岡山南	15	14	14	9	9	4	6	4	8	11
	興陽	7	6	9	7	9	8	2	4	3	3
	倉敷中央	5	8	11	4	6	5	3	3	5	8
	総社	9	16	19	14	17	19	20	14	19	16
	高梁	8	15	15	8	12	13	5	14	9	9
	久世										
小計		44	59	70	42	53	50	36	39	44	47
広島県	世羅	8	4	10	9	9	9	9	11	14	9
	沼南	8	7	7	3	3	4	2			
	庄原実業	1	3	7	3	3	2		1		1
	吉田	13	8	13	11	9	9	1	3	1	
	総合技術	11	12	11	8	10	10	7	7	11	8
	海田	53	53	54	66	63	63	46	45	44	34
小計		94	87	102	100	97	97	65	67	70	52
山口県	熊毛北		1						2		3
	山口農業	1	3								
	田部	8	6	7	5	4	2	3	1	5	3
	誠英	1	1	1			1				
	早鞆	5	1	3	4	3	11	3	6	8	6
	厚狭	3	6	3	7	3	4	2	4	1	2
小計		18	18	14	16	10	18	8	13	14	14
香川県	笠田	7	4	4	2	2	2	3	1	4	1
小計		7	4	4	2	2	2	3	1	4	1
愛媛県	小松	11	12	10	11	9	14	12	7	11	10
	伊予農業	11	15	19	13	10	6	7	9	4	
	大洲農業	1			3	2	4	5	2	3	5
	北条	1		1	2	5	4	2	1	2	
小計		25	27	30	30	26	28	26	19	20	15

人数

都道府県	学校名	年度									
		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
福岡県	折尾	4	10	6	8	9	10	7	11	5	4
	東鷹	2	2	1	5	5	6	7	1	7	3
	福島		1								
	筑豊	23	25	24	24	23	24	26	13	27	25
小計		29	38	31	37	37	40	40	25	39	32
長崎県	大村	39	39	33	38	37	37	38	23	34	31
	西彼農業	3	3	1	5	1	2	1	4	1	2
	島原農業	4	3	3	2	4	5	8	3	4	5
	島原商業	17	15	13	13	12	18	22	9	14	21
	口加	3	3	5	6	3	8	6	5	4	5
	川棚	15	10	6	11	7	12	2	4	6	13
	北松農業	6	18	11	8	5	2	4	8	6	3
	諫早農業	26	23	19	21	23	15	13	10	17	7
	五島海陽	8	6	4	7	3	6	6	4	3	1
	諫早商業										
小計		125	125	102	119	97	107	100	70	89	88
熊本県	松橋	3	5	10	4	8	5	2	4	6	2
	苓明	2									
	八代農業泉分校										
	天草拓心		4								
	八代農業			1		1	1				
小計		6	10	11	4	9	6	2	4	6	2
大分県	宇佐産業科学	6	7	1	3	4		2			
	別府溝部学園	4			5			4	2	1	
	佐伯豊南							2	1		
小計		10	7	1	8	4		8	3	1	
宮崎県	飯野	5	9	7	3	4	9	4	6	6	3
	宮崎農業	8	3	12	7	10	8	3	6	7	3
	高城	4	2	6	3	4	2	3	3	2	
	富島	5	6	5	7	4	5	2	3	2	3
	本庄		2	2	6	6	4	2	6	3	2
	延岡工業	3	2	3	3	5		3			3
小計		25	24	35	29	33	28	17	24	20	14
鹿児島県	鹿屋女子	11	10	12	11	12	14	8	7	5	7
	薩南工業	4	2	5	6	20	15	23	10	20	15
	垂水	2	1	5	0	2	3	3	2	1	3
	国分中央	15	8	11	2	5	4	3	7	12	7
	奄美	4	5	6	8	7	1	9	5	7	
	徳之島	2									
	鹿児島女子				1						
小計		38	26	39	28	49	42	48	32	48	34
沖縄県	那覇工業	9	4	7	8	6	8	4	2	7	1
	浦添工業	4									
小計		13	4	7	8	6	8	4	2	7	1
合計	学校数	112	109	103	105	98	96	92	90	82	77
	人数	966	949	946	897	825	812	727	597	638	535

## 7 「四冠王」取得学校名及び取得者数の推移

学 校 名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
千葉学園高等学校	1	1	1	5	2	4	3	4	2	7	3	4	3	1	3	4	1	2	2	3
宮城県松山高等学校				3					2			1			1					
宮城県亙理高等学校						1	2	1	3	2	1				2	1	1			
宮城県加美農業高等学校									1											
秋田県立大曲農業高等学校				1		2	3	1		2	1	2			1		1		1	
福島県立湯本高等学校		1											1							
福島県立磐城農業高等学校									1		2								1	2
福島県立二本松実業高等学校																				1
茨城県立石岡第二高等学校			2	1	3		2	1	3		1	4	1	2	1		2	1	1	2
茨城県立取手第二高等学校																2			1	
茨城県立水戸第三高等学校			1	1	2	2	4	3	3	3	4	6	5	3	5	3				
茨城県立水海道第二高等学校									1	4	1	1	2		2	2	2			
茨城県立竜ヶ崎第二高等学校											1		1	2	1	3	1		1	
栃木県立宇都宮中央女子高等学校	6	11	11	6	10	11	14	13	9	4	9	4	12	9	6	5	7	1		
宇都宮短期大学付属高等学校			12	24	25	43	33	13												
栃木県立小山西桜高等学校							1	1	5	5	4	2	7		5	6	3			
栃木県立佐野女子高等学校					2	1	28													
栃木県立佐野松桜高等学校									2	5	5	1	2	3	2	2	1	3		
作新学院高等学校					2				4	5		1								
群馬県立新田暁高等学校											1					1		1		
常盤高等学校											2						1			
群馬県立新田暁高等学校																			2	
千葉県立館山総合高等学校					2		1	5												
富山県立氷見高等学校																1				
静岡サレジオ高等学校						2		2	1		2									
静岡女子高等学校							2			1										
沼津中央高等学校									2		4	1		1	1	2	1	1		
兵庫県立小野工業高等学校																			1	
兵庫県立佐用高等学校															1					
兵庫県立社高等学校																	2	1	1	
和歌山県立神島高等学校			1					1												
鳥取県立鳥取湖陵高等学校										1										
鳥取県立米子南高等学校																			1	2
島根県立邇摩高等学校									1											
岡山県立岡山南高等学校												1								
岡山県立井原高等学校									1				1							
岡山県立興陽高等学校																			1	
岡山県立高梁高等学校										1			2	1	1	1	1	1	2	
広島県立世羅高等学校											4	1	2	3	1	2	3	5	3	8
広島県立総合技術高等学校																			1	4
広島県立庄原実業高等学校											1			1	1	1		1		
山口県立田部高等学校										1				1						
愛媛県立北条高等学校																1				
愛媛県立松山聾学校														1						
福岡県立折尾高等学校														1		5	2		3	1
福岡県立東鷹高等学校										1	2	1		2	4	2	2	1	2	2
福岡県立筑豊高等学校													2	6	6	11	9	6	9	10
長崎県立大村城南高等学校							1	1	1	1		2								
長崎県立川棚高等学校			2	3	1	2	2	1												
長崎県立島原商業高等学校										3	2	8	7	8	8	8	12	4	4	12
別府溝部学園高等学校																	1		1	
宮崎県立宮崎農業高等学校		1	1	2	1	1		3												
宮崎県立高城高等学校						1	3	2		1			2		1		2	1	1	
宮崎県立富島高等学校							1													
鹿児島県立奄美高等学校														1	1				2	
鹿児島県立薩南工業高等学校															4	3	3	2	11	6
沖縄県立北部農林高等学校						1														
合 計 人 数	7	14	31	46	48	73	100	52	42	47	49	41	50	45	58	66	58	33	50	53
累 計 人 数	7	21	52	98	146	219	319	371	413	460	509	550	600	645	703	769	827	860	910	963

---

令和 6 ・ 7 年度

学習指導要領を踏まえた保育技術検定の在り方  
～共通教科「家庭」の保育に係る指導の充実に向けて～

公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会  
全国高等学校長協会家庭部会  
技術検定調査研究委員会

〒102-0071 東京都千代田区富士見1-5-6  
TEL 03-3261-0617 FAX 03-3288-1670

URL [https:// www.kateibukai.jp](https://www.kateibukai.jp)  
E-mail [all-kocho@katei-ed.or.jp](mailto:all-kocho@katei-ed.or.jp)

発行日 令和 8 年 3 月 31 日

---

